



老子摘解

乾坤

□ 13
1647



荆棘 一掃 冬天 凍冰 快

苓陽廣先生著

老子摘解 全二冊

浪華書林

羣玉堂製本

題老子摘解首



高



家君中年ヨリ老子ノ説ヲ喜ヒ嘗テ其中ノ數章
ヲ取リ國字ニテ之ヲ解之、以テ讀老ノ方ヲ示ス、
名ケテ老子摘解ト云フ、既ニメ折玄ヲ著アリ、摘解
ハ長ク廢シヌ、予頃口舊稿ヲ閱スルニ、折玄ハ實
ニ其説ヲ敷演シタル者ナリ、然リト雖モ、折玄ノ
言ヒ及ホサル所アリ、一切ニ廢棄スルハ惜ムハ
シ、折玄ハ簡古ニメ其趣ヲ窺ヒ易カラサル者ア

1647



老子摘解

ハ犯ス下ア以テ隠ストナシ、是ヲ忠ト云ス然
レ氏、孝ノ道ヲ以テ君ニ事レハ、不忠トナリ、忠
ノ道ヲ以テ親ニ事レハ、不孝トナル、忠孝ミナ
常名ニアラス、常トハ何方ニ持チ行キテモ、易
ハラ又所ヲ云フ、常久不易ノ道ト云フ心ナリ、
名トハ、孝ト云ヒ、忠ト云フ、即チ名ナリ、身ノ行
フ所ヨリイヘハ、道ト云ヒ、口ノ稱スル所ヨリ
云ヘハ、名ト云フ、實ハ同シ物ナリ、

無名天地之始。有名萬物之母。

右ノ如ク、天地ノ始メヨリ、道ト云フ者ハ、常道
アレ氏、何ニトモ名ハ付ケラレヌ故、名ハ無カ
リシナリ、世開ルニ及ンテ、自然ト物ノ名テキ
テ、孝不孝、忠不忠ノ差別明カナリ、其ノチ名ヨ
リ名ヲ生シ、萬物ソレソレニ名定リタリ、是モ
萬物ハ開闢ノ始メヨリアル者ナレ氏、名出來
ルニ及テ、始メテ見ハレテ、萬物新ニ出生スル

妙無欲以觀其微

力如之故二萬物ノ母ト云タル者ナリ、
常無欲^三以觀^二其妙。常有欲^三以觀^二其微。

二句ハ學者ノ工夫ヲ云ヒタルナリ、常無トハ
常無名ナリ、常有トハ、常有名ナリ、先試^二之^一、道
二名ヲ付ケスニ置テ觀ルヘシ、何方ニ向ケテ
モ、滯ルト云フナク、誠ニ妙ナル者ナリ、又試
シ、世間ノ通リ、事々物々ニ名ヲ付ケテ觀ル
ヘシ、名ノカス千萬アリ、彼理ハ此ニ通シ難ク

此道ハ彼ニ差支ユル、即チ微アルナリ、微トハ
國界ノシルシナリ、通スル所アリ、通セサル所
アルナリ、

此兩者、同出而異名、同謂之玄、玄之又玄、衆妙之門。
兩ハ妙ト微トナリ、同ク玄妙ノ理ナリ、又其奧
ニ、ニツノ者ノ出ル所アリ、是ヲ又玄ト云フ、此
所一切ノ妙之ナ其中ヨリ出ルナリ、コ、ハ誠
ニ言語ニ絶ヘタル場所ナリ、

老子首章
 此章ハ老子ノ首章ニ入リ立言ノ大意ヲ述ヘタ
 ルナリ凡ソ物實アレハ名アリ然レモ名立テ
 實離ル、莊子ニ名者實之賓也ト云ヘリ然ルニ
 世人名ニ惑フテ實ヲ失ヒ信ト云ヘハ尾生ノ
 信ノ如キトヲ認テ實トシ直ト云ヘハ直躬カ
 直ノ如クニナル夫故老子ハ物ニ名ヲ付ケス
 是ヲ無名ノ學ト云フ然リト雖モ一向各ヲ廢
 ノハ世上不通用ナリ能ク其道理ヲ知テ行ヘ
 ノハ孔子
 中世
 孔子
 老子
 莊子
 墨子
 孟子
 荀子
 韓非子
 呂氏春秋
 淮南子
 揚雄
 王充
 桓譚
 仲長統
 嵇康
 阮籍
 郭象
 向秀
 裴頠
 孫資
 孫資
 孫資

此章ハ老子ノ首章ニ入リ立言ノ大意ヲ述ヘタ
 ルナリ凡ソ物實アレハ名アリ然レモ名立テ
 實離ル、莊子ニ名者實之賓也ト云ヘリ然ルニ
 世人名ニ惑フテ實ヲ失ヒ信ト云ヘハ尾生ノ
 信ノ如キトヲ認テ實トシ直ト云ヘハ直躬カ
 直ノ如クニナル夫故老子ハ物ニ名ヲ付ケス
 是ヲ無名ノ學ト云フ然リト雖モ一向各ヲ廢
 ノハ世上不通用ナリ能ク其道理ヲ知テ行ヘ

老子首章
 此章ハ老子ノ首章ニ入リ立言ノ大意ヲ述ヘタ
 ルナリ凡ソ物實アレハ名アリ然レモ名立テ
 實離ル、莊子ニ名者實之賓也ト云ヘリ然ルニ
 世人名ニ惑フテ實ヲ失ヒ信ト云ヘハ尾生ノ
 信ノ如キトヲ認テ實トシ直ト云ヘハ直躬カ
 直ノ如クニナル夫故老子ハ物ニ名ヲ付ケス
 是ヲ無名ノ學ト云フ然リト雖モ一向各ヲ廢
 ノハ世上不通用ナリ能ク其道理ヲ知テ行ヘ
 ノハ孔子
 中世
 孔子
 老子
 莊子
 墨子
 孟子
 荀子
 韓非子
 呂氏春秋
 淮南子
 揚雄
 王充
 桓譚
 仲長統
 嵇康
 阮籍
 郭象
 向秀
 裴頠
 孫資
 孫資
 孫資

ハ名アリト雖モ害ナシ名ヲノクレハ滯リナ
 ク妙ナルトハ勿論ナリ名ヲノクテ雖モ其道理
 ヲ能ク合點メ名實離レサル様ニスレハ是亦
 一種玄妙ノ理ナリ故ニ同謂之玄ト云ヘリ
 凡一切ノ是非利害皆假リニ設ケタル名ニ入
 其實ハ糾ヘル繩ノ如ク分別シ難キ者ナリイ
 ヲテ此東家ノ西ハ西家ノ東ニテ佛家人語ニ
 云、本來無東西、何所有南北ト云ヘリ莊子ニ老

子ノ學派ヲ論入建之以常無有トアリ是即子
常無常有ナリ是ヲ二本柱ト立テ道理ヲ説久
此道理ハ手述ク譬ヘハ當時流行スル真金銀
札ノ所ニテ曉ルヘシ常道常名ハ真金ノ如シ
天下ニ通用セサル所ナシ是妙ナリ假道假名
ハ銀札ノ如シ其國ニテ用立ツ所ハ真金同様
ナレモ境ノ外ニ持テ行キテハ一錢ニモナラ
ス忠ハ孝ニナラス孝ハ忠ニナラス類ナリ是

子ノ學派ヲ論入建之以常無有トアリ是即子
常無常有ナリ是ヲ二本柱ト立テ道理ヲ説久
此道理ハ手述ク譬ヘハ當時流行スル真金銀
札ノ所ニテ曉ルヘシ常道常名ハ真金ノ如シ
天下ニ通用セサル所ナシ是妙ナリ假道假名
ハ銀札ノ如シ其國ニテ用立ツ所ハ真金同様
ナレモ境ノ外ニ持テ行キテハ一錢ニモナラ
ス忠ハ孝ニナラス孝ハ忠ニナラス類ナリ是

後ナリ又玄トハ玄ハ一層奥ニ又玄アリ夫ヨ
リ一切ノ妙所出ルト云フトナリ此一層ト云
フハ有ニモ非ス無ニモ非ス總シテ道理ヲ説
ク者ハ是マテト判行ニカシタル様ニ言ハレ
又者ナリ夫故此ノ如キ所ニ歸スルナリ後世
或ハ又玄ト云フ所ヨリ一種ノ境界ヲ開キ種
々ノ説ヲ為スハ讀書ノ理ニ暗キナリ

天下皆知章

天下皆知美之為美。斯惡已。皆知善之為善。斯不善已。
 美ハウツクシキナリ、惡ハミニクキナリ、
 美キ物モ、ウツクシト見ユル程ニナリテハ、後
 ハ見ニク、ナル、善事モ、善ト見ユル程ニアレ
 ハ、後ニハ又疵カ出テ不善トナル、美モ善モ、人
 ノ知又様ニアルカ、真美真善ナリ、其仕方ハ、後
 ニ云フ無為ニアリ、
 故有無相生。

是ヨリ以下ハ、譬ヘヲ引テ、前二句ノ意ヲ明カ
 セリ、譬ヘハ、人ノ金錢ヲ畜ヘタルハ有ナリ、之
 ヲ用ユレハ無トナル、是有ヨリ無ヲ生ス、一錢
 モナキハ無ナリ、サスレハ是非出精ノ畜ユル
 様ニナル、是無ヨリ有ヲ生スルナリ、
 難易相成。

川下ヨリ舟ニ乗テ、川上ニ行クハ難シ、歸リニ
 下タルハ易シ、是難ヨリ易ヲ成ス、初メ川下ニ

下ルハ易シ、歸リニ上ルハ難シ、是易ヨリ難ヲ
成スナリ、
長短相形。

一丈ノ物ヲ、ニツニ切テ用ユル時、始メヲ六尺ニ
切レハ、残り四尺ニ成テ短シ、始メヲ短クスレ
ハ、後長クナル、是長短相形スルナリ、
高下相傾。

傾トハ、向フノ物ヲ此方ヘ移シ取ルナリ、譬ヘ

ハ、川ノ上ニ岸アレハ、岸ノ土川ヘクハロム様
ニナル、是卑キヨリ高キヲ傾タルナリ、其アト
ハ、川サテヘアリテ、川ノ泥ヲ岸ニ上ル、是高キ
ヨリ下ヲ傾ルナリ、
音聲相和。
吾ヨリ人ニモノイヘハ、人ヨリ吾ニ答又吾惡
聲ヲ以テスレハ、人亦惡聲ヲ以テ答ス、吾美言
ヲ以テスレハ、人亦美言ヲ以テス、是相和スル

是以下ハ、前ニ云フ如ク、世間ノ事ハ、一切手ノ
出サレヌ物ユエニト云フナリ、聖人ト云フハ、
知慧深ク、過去現世未來ヲ、一目ニ見通シタ
ル人ナリ、世事ハ手ノ出サレヌ物ナカラ、世ニ
居テ、木佛ノ如クニシテ居ルハ、ナラヌナ
リ、夫故ニ無為之事ト云モノアリ、如何程シテ
モ、一向セヌト同シナリ、不言之教トテ、如何
程イフテモ、言ハヌト同シナリ、聖人ハ之ヲ

指書スル所

行ヒ玉フ故ニ、後難ヲ免レ玉フナリ、
萬物作焉而不辭。
是ヨリ以下ハ、無為ノ事ノ仕様ヲ説クナリ、萬
物トハ、萬人ト云フカ如ク、作トハ、事ヲ思ヒ立
ナリ、不辭トハ、萬人ヨリ思ヒ立テ、此方ニ頼ム
時ハ、辭退セシテ引受ルナリ、萬人ノ頼ミニ
付キ、據口ナクスルナレハ、如何程ノ事ヲシ
テモ、吾スルニ非スメ、人ヨリセシムルナリ、是

即チ無爲之事ナリ、
生而不有。為而不恃。功成而不居。

此三句ハ事成就シタル上ノ心得ヲ云ヒタル
ナリ、生ハ事ノ出來ルナリ、有スルトハ、我モノ
ニスルナリ、恃ハ功ヲ恃ムナリ、三句皆同シ
ナレバ、タリカヘメ委シク云ヒタルナリ、叔人
ノ頼ニ付テ事ヲ起ス、萬人一同ニ望ムナ
レハ、格別骨折ラストモ、功ハ成就スルナリ、其

成○就○シ○タ○ル○時○ニ○我○功○ニ○セ○ス○吾○ハ○人○ノ○ア○ト○ニ
付○テ○働○キ○タ○ル○ナ○リ○事○ノ○成○ル○ハ○諸○人○ノ○功○ナ○リ
我○功○ニ○ア○ラ○ス○ト○云○フ○テ○恩○賞○ナ○ト○モ○少○シ○斗○リ
受○給○メ○早○速○其○場○ヲ○立○退○ク○ナ○リ○是○ヲ○生○而○不○有
爲○而○不○恃○功○成○而○不○居○ト○云○ナ○リ○是○マ○テ○カ○無○爲
ノ○社○歎○ナ○リ

夫唯不居。是以不吝。
此二句ハ、無爲ノ功能ヲ述ヘタルナリ、功ヲ人

二讓ルハ、損ノ如キナレト、實ハ然ラス、允ソ成
ルニアレハ、必ス敗ル、ニアルハ、前ニ述タル
譬ヘノ如シ、故ニ功ヲ我物ニスレハ、又々後難
ニカミリ合フニアリ、早ク互退ク時ハ、其患已
ナクメ、其身モ全ク、名譽モ後ニ殘ルナリ、是居
ラヌ故ニ、太ラヌト云フ理ナリ、是即チ真美真
善ナリ、我功名ヲ人ニ讓ル故ニ、諸人之ヲ目サ
サス、後ノ禍ナシ、無為トハ、人形ノ如ク、何ニモ

セ又ニハ、非ス、マタ人カ思ヒ立テハ、何時モ同
意スルニモ非ス、允ソ事ハ始ムヘキ時節アリ、
其時ニ我ヨリ始メサレハ、是非トモ人ヨリ始
ムルナリ、人ノ始メタル上ニテ之ニ從フ、是無
為ナリ、不言之教ハ、無為之事ニ准メ知ルヘシ、
我言フヘキ事ヲ言スニ置ケ、人ヨリ我ニ言
ハシムル、我言フニ非スシテ、人ノ言フナリ、是
不言之教ナリ、

三十輻共一轂章

三十輻共一轂。當其無有車之用。

此章ハ、無ノ妙用ヲ明シタル者ナリ、輻トハ、車ノヒノアシナリ、輪一ツニ付キ三十本アリ、其レカ中ノ轂ト云フ者ニ、ハサミテアルナリ、轂ノ中、空虚ナル所アリ、能ク輻ヲ運動ス、故ニ車舞フナリ、轂ノ中ノ何ニモナキ所、第一緊要ノ所ナリ、三十本ノ輻モ、何ニモナキ所アル事ナリ

二六、用ニ立ツナリ

埏埴以為器。當其無有器之用。

埴トハ、子ハ土ナリ、燒物ニスル土ナリ、埏ハ調合スルナリ、子ハ土ヲ調合メ、茶碗其外ノ器物ヲツクル、其器ノ用ニ立ツ所ハ、器ノ中ノ空虚ナル所カ、用ニ立ツナリ、茶碗ノ細工ハ、色々妙ナル者アレ、凡、畢竟ハ何ニモナキ所カ、用ニ立ツ所ナリ、湯茶ヲ盛ルモ、物ヲ入ル、モ、極意コ

ノ空虚ナル所カ、用ニ立ツナリ、
鑿戸牖以為室。當其無有室之用。

牖ヲアクルニモ、色々ノ細工ハアレ
牖ノ中ノ何ニモナキ所カアル故、其間ヨリ日
月ノ光サシ込テ、一室ヲ照スナリ、一室ノ細工、
千差萬別ナレモ、牖ノ中ノ空虚ナル所カ、入用
ノ所ナリ、

以上ノ三喻、三事ナレモ、其道理ハ一ナリ、何事

モ空虚ナル所カ、第一ノ入用ノ所ナリ、

故有之以為利。無之以為用。

故トハ、前三ヶ條ノ故ヲ以テナリ、三十本ノ韜
ノ、人ノ利ニナルモ、器牖ノ用ニ立ツモ、皆無ト
云フ者カ、極意ノ入用ナリ、無カナクテハ、如何
程立派ノ細工ニテモ、一向用ニ立タス、世事モ
亦此ノ如シ、コノ所ヨリ考ヘテ、無ノ大切ナル
トヲ知ルヘシトナリ、

此章ハ、主章ノ常無欲^三以觀^三其妙ト云フヲ、委シ
ク述ヘタルナリ、其外八十一章ノ中、常無觀妙
ノ理ハ、每度之ヲ云ヘリ、此章最モ明白ニ、人
ク譬ヘヲ取リタル者ナリ、世人唯有ノ用立ツ
トヲ知テ、有ト云フ者ハ、無アリテノ上ニテ、始
メテ用ニ立ツナリ、同ク用ヲナセ、凡、魚ノ功、尤
モ上ニ居ルト云フニ心付カス、故ニ丁寧及復
シテ之ヲ述ヘタルナリ、

有無ト云フ^一、老子第一ノ要義ニ、又易ニ陰陽
了ルカ如シ、是ヲ佛說ニスレハ、地水火風ヲ天
地トス、是有ナリ、其上ニ空氣ト云フ者アリ、
之ヲ運用ス、是即チ無ナリ、天地ノ位ヲ得、日月
ノ運行、風雷ノ變化、總テ空氣アツテ、其間ニ行
ハル、ナリ、空氣ナクレハ、萬物壞ル、ナリ、人
ノ息ヲ物ニテ塞キタルカ如シ、人ハ一日ニ日
食セス、凡、死スル^一ナシ、空氣通セ、子ハ、忽チ死

スルナリ。故ニ萬物無ニ依テ生活セサルハナ
シ、扱無ヲ離ルト離レサルト、動靜ニ因ルナリ
靜ナレハ離レ難ク、動クハ離レ易シ、是虚靜ヲ
貴フ所以ナリ、先ツ此大意ヲ知テ、無ノ妙用萬
物ノ上ニアルヲ知ルヘシ、造化即チ無ナリ、
是ハ眼前ノ理ニテ、人ヲ知リタルヲナレト、人却
テ之ヲオロソカニスルナリ、今老子舉ル所ノ三
條ハ、極テ瑣細ノ一ニ付テ、其理ヲ明スナリ、

無ト云フヲ一ヲ、人ノ行ヒニスレハ、論語ニ君子
不器ト云フ、是即チ無ナリ、舜十六相ヲ舉ク、己
レハ己レヲ恭シテ南面スルノ之、故ニ古人老
子ヲ評ス、人君南面ノ術ナリトイヘリ、然レト、
老子ノ意ハ、萬事ニ付ケテ、己レハ無ノ處ニ居
リ、人ヲ有ノ處ニ用ユルナリ、其意ハ之ヲ言ヘ
ハ頗長シ、今暫ク之ヲ畧ス、
有無二字ノ義ニ付、後世種種ノ議論アリ、無ニ

七階級ヲ立、是ハ有ニ對スルノ無、是ハ有無ヲ
離レテ、其上ニ一アル無ナト云フ、是皆莊列以
後ノ議論ニテ、老子ニハ言ハヌナリ、老子ノ
主意ハ形アルヲ有ト云ヒ、形ナキヲ無ト云フ
ノ之、何ニモ外ニ高妙ナルナシ、唯其無中ニ
有アリ、虚中ニ實アリ、退中ニ進アリ、靜中ニ動
アリ、變化測ラレサル所ヲ、孔子モ龍ノ如シト
歎シ、玉ヘリ、世人莊列ヲ見ルニ習フテ、無ノ字

二種々ノ鑿說ヲ唱フ、其言高妙ニ似タレ、凡實
ハ何ノ用ニモ立ヌナリ、此處老子ヲ見ルニ
付テ、緊要ナリ、今槩畧ヲ是ニ載ス、
古之善爲士者、章
古之善爲士者、微妙玄通、深不可識、夫唯不可識、故
強爲之容。
此章ハ、老子嘗テ孔子ニ告ルニ、君子盛徳容貌
如愚ト云ヘリ、此章即予如愚ノ形容ヲセシ者

ナリ、古ノ善キ士ハ、其人トナリ、中々外ヨリハ
 推察出来ヌナリ、夫故何トモ形容シ難シ、今述
 ル所ハ、強テ之カ形容ヲナス者ナリ、微妙トハ
 微ニシテ見難キナリ、玄通トハ、又ケトヨリテ
 障リノナキナリ、是ハ誠ニ愚ナルニ非ス、唯
 外ヨリ知リ難キ故、自然ト愚人ノ如クニ見ユ
 ルナリ、
 豫兮若冬涉冽。

豫ハ猶豫ナリ、寒中衣ヲ脱テ川ヲ渡ル時ハ、寒
 テ畏ル、故、誰モウヂウヂトスルナリ、萬事ニ
 付キ、タメライテ埒ノ明ヌ氣色、是ニ尤モ似タリ、
 猶兮若畏四鄰。

猶モ猶豫ナリ、是モ諸事タメラヒテ、カ様ニシ
 タラハ、前ノ人カ何ニトセンカ、カ様ニ言タラ
 ハ、後ノ人カ何ニト言ンカト氣遣ヒテ、物事ハ
 キト急埒ノ見ヘヌナリ、

儼兮其若客。

儼ハ嚴格ナル貌ナリ、人ノ中ニ出テモ、木人形ノ如クニ、笑モセズ、語リモセズ、唯客人ノ如ク構ヘテ居ルナリ、
渙兮若氷之將釋。

問ニハ言フ時モアリ、併シハキト云ヌナリ、氷ハ半ハ解ケ、半ハ解ケサルカ如ク、
敦兮其若樸。

敦ハアツキナリ、樸ハアラケツリナリ、イカニモアラケツリニテ、飾ハ少ナク見ユルナリ、
曠兮其若谷。

曠ハ空虚ナリ、谷ノ中ノ空虚ニメ、一物モナキ様ニモ見ユルナリ、
渾兮其若濁。

渾ハニコル貌ナリ、水ノカキマセテ、底ノ濁リタル様ニ、ナニカ一物アル様ニモ無キ様

ニモアリ、ハキトセ又ナリ、
孰能濁以静之徐清。孰能安以久之徐生。

此一節ハ、上句ノ濁ルカ如シト云フ語ヲ兼テ
其濁ルニ付ケテ、一趣向アルヲ明シタリ、始
ノ句ノ尻ヲ取テ、ソレヨリ趣向ヲ出ス、老子ノ
文法ナリ、扱濁カ如クニスルヲ追々之ヲ澄サ
シカ爲ナリ、急ニ澄サントスレハ車ヲ敗ル、自
然ト澄ム様ニスヘキナリ、又一ニハ物ヲ急ニ

テカサントスレハ、宜シカラス、唯安寧ニ人、自
然ニ生スルヲ待ニ如カス、是古人濁ルカ如ク
見ユル所以ナリ、此譬ハ、直不疑カ、深切ナ
リ、不疑同舎ノ郎金ヲ失ヒ、不疑ヲ疑ヒタレ、
少シモ申譯ヲセス、取ヌ者ヲ取リタル分ニ、
車ヲ濟シタリ、其後盗ヌ、下カ自然ト分リ、言ヒ
懸ケシタル者ハ、大ニ過チヲ謝シタルナリ、若
シ其時急ニ申譯ヲシタリ、必定盗ヌ、下カ分

ハモセズ人ノ疑ヒモ却テ解ケヌナリ申譯ヲ
セズ人ニテ始テ明白ニナリタリ盗賊ト云
ハ名ヲ蒙リナカズ其分ニテ居タルト即チ濁
ナリ安以久之トハ同人ノトニテ言ハハ始ハ
直不疑ト云フ者何ノ名モナカリシニ右ノ件
ヨリ長者ト云フ評判高クナリ後ニ立身ヲ遂
セタリ是其福祿幸抱強キ處ヨリ自然ト生ニ
タル者ナリ即チ徐生ナリ

保此道者不致盈夫唯不盈故故不新成。

右ノ如ク容貌如愚ニ見ユルハ畢竟ノ處盈満
ヲ嫌フナリ内既ニ聰明外マタ聰明ニ見ユル
是盈満ナリカクノ如クナレハ神怒リ人嫉
テ終ニ禍ニカハルナリ故ニ内聰明ナル程外
愚鈍ニ見ユルカ調合宜シキナリ故ニ盈満ス
ルトナレ満ルトナケレハ虧ルトナレ因テ身
家ト安然タリ故不新成トハ舊キ者カ相續ス

易ハル一ナシ、夫故新ニナルト云一ハナシ、モ
トノマ、テヌムナリ、如愚ノ形容モ、處ニ見
ヘタリ、令其一ヲ釋スルナリ、
上善若水章

上善若水。水善利萬物而不争。處衆人所惡。故幾於
道矣。

上善トハ、善ノ仕方モ種々アリ、其仕方ノ上手
ナルヲ上善ト云フ、其仕方ハ水ニ似タリ、水ハ

一物ノ物ヲ潤メ、利益多キ物ナレモ、サレヌ一
又無理ニハセヌ者ナリ、不爭トハ、無理ヲセヌ
一ナリ、人情ハ高キヲ好ミ、下卑ヲ惡メ、水ハ
卑キ處ヲ好ニテ流レ、行難キ方ヘハ行カヌ、行
ル、方ノミニ行クナリ、故ニ聖人ノ仕方ニ似
テ道ニ近キナリ、
居善地。

是ヨリ以下ハ、上善ノ仕方ヲ説キタルナリ、地

ハ場所ナリ、人ハ身ノ居リ處第一ナリ、我勝手
ヨクテ、人ノ邪魔ニ成ラヌ處ヲ擇ンテ居ル、是
居善地ナリ、善クストハ、上手ニ都合ヨクスル
ナリ、

心善淵。

淵ハ深シテ底ノ見ヘヌ物ナリ、人ノ心モ底ヲ
見ラレヌカヨシ、然レモ、底意ノ知レヌ氣味ワ
ルキ人ト云ハル、ハ無調法ナリ、人ニ知ラレ

ス、氣味ワルカラレヌ様ニスル、是心善淵ナリ、
與善仁。

人ニ物ヲ與ユルモ、與ヘ様カ下手ナレハ、格別
忝ク思ハス、又傍ヨリ名聞者ナト云フテ譏ル
者モアリ、其所ヲ考ヘテ、クワヒヨク與ユル、是
與善仁ナリ、

言善信。

信モ尾生カ信ノ様ナルハ、下手ナル信ナリ、虚

ヲ言ハス、身ノ爲メニモヨキ様ニ言フ、是言善
信ナリ、

政善治。

民ヲ治ルニモ、有爲ナルイヲスレハ、治メント
シテ、却テ亂ヲ招久、無爲ニメ、人氣ニ逆ラハ又
様ニ治ムル、是政善治ナリ、

事善能。

能ハ才能ナリ、才能了ル者ハ、事ニ使ハル、ナ

リ、事ニヨレハ、使ハレ過テ、身ノ迷惑ニナル、隨
分事調ヒテ、身ノ迷惑ニナラヌ様ニスル、是事
善能ナリ、

動善時。

身ヲ動カスニ、時節ヲ以テセサレハ、人ノ妨ニ
ナル、譬ヘハ芝居ノ中ニ居ルモノ、幕ヲ引キタ
ル間ニ手水ニユケハ、見物人ノ妨ニナラヌカ
夫如シ、是動善時ナリ、

夫唯不爭。故無尤矣。

是ハ前ノ七ツノ譬ヘテ、一ツニクルメテ言ヒ
 タルナリ、事ハ七ヶ條ナレト、其任方ヲ一口ニ
 イヘハ、不爭ノ二字ニ歸スルナリ、善事ヲサル
 ル時ニシテ、サレ又時ハセスニテ、夫故ニ尤
 メラレス、人ノ爲メニモ我カ爲メニモナル、是
 ヲ上善若水ト云フナリ、老子ノ善意ハ、世上ニ善ヲナシテ身ニ禍ヲ招

ク者多シ、是善ハ善ナレト、善ノ任方下手ナル
 故ナリ、夫故身ニ禍ヲ招キテ、人ノ爲メニモ格
 別ナラス、唯水ノ卑キニ流ル、様ニ行レ又所ヘ
 ハユカス、サル、一斗リヲシテ置ケハ、人ノ爲メニ
 モ我カ爲メニモナリテ、上善ト云フヘキナリ、
 其任方ハ下ニ七ヶ條ノ事ヲ説キタルニテ、知
 ルヘシトナリ、但シ此内ニテ居善地ト云フ、尤
 モ大切ナルト云ヘ、第一ニ置タルナリ、尤モ賢

人○君○子○ノ○身○ヲ○殺○ス○ニ○至○ル○ハ○自○身○モ○好○ム○事○ニ
 ハ○非○レ○氏○ム○ワ○カ○シ○キ○瀬○ニ○ノ○リ○カ○、○リ○テ○善○人
 ニ○ナ○ル○カ○、○惡○人○ニ○ナ○ル○カ○、○ニ○ツ○ニ○一○ツ○ノ○手○詰○ト
 ナ○ル○夫○故○摶○口○ナ○ク○命○ヲ○棄○テ○惡○人○ニ○ナ○ラ○ス○様
 ニ○ス○ル○ナ○リ○又○其○時○命○ヲ○惜○ミ○テ○一○生○ノ○善○行○ヲ
 無○ニ○ス○ル○族○モ○多○シ○是○ニ○ナ○身○ノ○居○リ○所○ワ○ル○キ
 故○ナ○リ○上○善○ヲ○ス○ル○者○ハ○最○初○ニ○身○ノ○居○ル○所○ヲ
 擇○ミ○テ○善○人○ニ○モ○惡○人○ニ○モ○成○ル○ニ○及○ハ○又○所○ニ

居○ル○ナ○リ○其○上○ニ○テ○善○ノ○サ○レ○ル○時○節○到○來○ス○レ
 ハ○出○テ○善○ヲ○ナ○シ○サ○レ○又○時○ハ○イ○ツ○マ○テ○モ○セ○ス
 ニ○居○ル○善○ヲ○ス○レ○ハ○人○ノ○為○メ○ニ○モ○身○ノ○為○ニ○モ
 ナ○ル○ナ○リ○セ○又○ト○テ○惡○人○ニ○ハ○ナ○ラ○ス○是○上○善○ヲ
 ス○ル○手○段○ト○云○フ○モ○ノ○ナ○リ○ハ○其○良○也○

致虚極章

致虚極守静篤。

此章ハ人君ノ道ヲ明カス所ナリ、虚ハ實ノ反

對ニシテ、何ニモナキ事ナリ、致虚極トハ、人君
 タル者ハ、其心ヲ空虚ニシ、善ヲモ思ハス、惡ヲ
 モ思ハヌ様ニ、極々致シ極ムヘシトナリ、靜ハ
 動ノ反對ニシ、動力又ナリ、是ハ其身ヲ靜ニ
 シ、善事ヲモセズ、惡事ヲモセヌト云フ處ヲ、手
 篤ク守ルヘシトナリ、致虚ハ無心ナリ、守靜ハ
 無爲ナリ、人君ハ、内無心ニシテ外無爲ト云フ所ヲ、
 手堅ク心得ヘシトナリ、

萬物並作。吾以觀其復。

萬物ハ萬人ナリ、作ルハ事ヲ思ヒ立ツナリ、以
 トハ、虚ト靜トノニツヲ以テスルナリ、復トハ、
 思ヒ立ツトヲヤメテ、其前ニ反ルナリ、言口ハ
 萬人競テ事ヲ思ヒ立チ來テ挑ムト雖モ、イツ
 迄モ虚靜ノニツヲ守リテ居ルナリ、此ノ如ク
 スレハ、彼モ亦自然ト思ヒ立ツトヲヤメテ、本
 ノ無事ニ反ルナリ、觀トハ、觀テ待テ居ル意ナ

夫物芸々。各歸其根。

芸々ハ多キ貌ナリ、萬物ノ動キ立チタル時ハ、
芸々トシテ多シト雖モ、暫クスレハ其本ニ立
チ歸リテ、靜マル者ナリ、夏ノコロ百蟲ニ外
ニ出テ動ケル、秋冬ニ至レハ、蟄シテ穴ニ入カ
如シ、人モ種々ノ事ヲ思ヒ立ツ者アレル、上ヨ
リ取合スニヲレハ、自然ト休テ本ニ歸ルナリ、

歸根曰靜。靜曰復命。復命曰常。

萬物根ニ反レハ、靜カニナルナリ、靜カニナレ
ハ、天命ノ本ニ反ル道理ナリ、天命ニ歸レハ、平
常ニシテ易ハラヌナリ、此三句、大抵同意ナリ、
萬物皆靜カナルヲ根本トシ、天命ノ常トス、動
クハ、變ニシテ常ニ非サルナリ、

知常曰明。不知常妄作凶。

萬物皆靜カナルヲ常トシ、動クヲ變トス、靜カ

ナルカ常ト云フ一ヲ知テ、人ハ動ケル我ハ動
カス、人ノ静カニナルヲマツ、是物ノ理數ニ明
カナルト云フモノナリ、モシ静カナルヲ常ト
スルノ理ヲ知ラサレハ、人動ケル我亦動ケル、理
ヲ知ラスノ動ケルハ、妄リニ動ケナリ、必ス禍凶
ヲ招クナリ、
知レ常容。容乃公。公乃王。王乃天。天乃道。道乃久。没身
不殆。

常ヲ知テ静ヲ守ル人ハ、人ヨリ如何ナル事ヲ
仕カケタリ、争ヒ拒ムトナク、默シテ之ヲ
容ル、ナリ、是ハ向フノ人モ追々静マルト云
フ一ヲ知ル、ユヘナリ、此ノ如ク物ヲ容レハ、其
心人我私ナキ故ニ、公ト云フ處ニ叶フナリ、
是乃チ帝王天下ヲ兼畜ユルノ量ナリ、又天ノ
萬物ヲ容ル、理ニモ叶フナリ、天ニ叶ヘハ道
ニモ叶フ、道ハ天地ヲ生スル物ナリ、道ニ叶ヘ

ハ、永久不滅ナリ、人ヨク此所ヲ知レハ、生涯危
キ車ハナキナリ、容公王天道久ク、段々疊ニカ
クテ云ヒタルニハ、深キ差別ハナシ、夕々反復
重疊メ、其妙處ヲ賛歎シタル者ナリ、
致虚守静テ、物ノ復スルヲ觀ルト云フ、
辟言ハ
ヲ舉テイハ、漢ハ文帝ハ時、千里ノ馬ヲ獻ス
ル者アリ、文帝之ヲ無用ハ物ナリトシテ受ケ
玉ハス、是ヨリ物ヲ獻メ上ニ媚ヲ求ルトヤミ

タリ、畜夫ハ官辯舌ヲ逞フメ、上ノ意ヲ迎ヘタ
レ、此賞シ玉ハス、是ヨリ上ニ取入ル事ヲスル
者ナシ、吳王濞謀反ハ志アリ、入朝セサリシ
ヲ答メスメ、却テ心杖ヲ賜ヒタル故ニ、反謀自
カラ止ニタリ、張武カ賄賂ヲ受シ、
答メス
メ、却テ金錢ヲ賜ヒタレハ、百官ハ賄ヒヲ受ル
ト、自カラ止ニタリ、是等ノ慶賞スヘクメ、必シ
モ賞セス、罰スヘクメ、必シモ罰セス、唯虚静ニ

凡人ノ心ヲ静メタルナリ、是文帝ノ老子ヲ好
 之玉ビシ處ナリ、但シ此趣意ハ、人君ニ限ラス
 平人ノ上ニモアルナリ、譬ヘハ、醉狂人アリ
 テ、我ニ種々ノ無禮ヲナスナリ、我ヨリ相
 手ニナラサレハ、自然ト静マルナリ、是虚静ニ
 ノ復ヲ觀ルノ理ナリ、モシ醉狂人ヲ相手トメ
 爭論ニ及ビタラハ、イワユル不知常妄作凶ト
 云フモノナリ、是凡人ト雖モ、心付クナリ、

達人ヨリミレハ、世上有爲ノ人ハ、皆醉狂人ノ
 如シ、我心ヲ動かノ相手ニナルハ、愚又至リト
 思フナリ、

某禪師山中ニ菴ヲ結ビタルニ、鬼魅多クノ種
 々ノ畏ロシキナリ、禪師ヲ恐シタリ、然
 レモ禪師安然トアリシニ、後モ鬼魅自カラ
 退キテ、障礙ヲナスナシ、人禪師ニ問フ、如何
 ナル術ヲ以テ、鬼神ヲ退治シヤ、禪師答ヘ

テ。我ニ術ナシ。唯空ヲ以テスルノ。之。山鬼ノ伎
倆ハ。盡ル。ト。ア。レ。凡。老僧ノ。一。空ハ。盡ル。ト。ナシ
ト。云。ヘ。リ。禪師ノ。空。即。子。老子ノ。虚。静。觀。復。ノ。義
ナリ。

希言自然章

此章老庄之句。故孔子贊寧氏曰。女和不可及。及不可及。孔子之意。不可及。

希言自然。

此章ハ。己ム。ト。ヲ。得。マ。又。虐。亂ノ。朝ニ。立ツ。時ノ
心得ヲ。云フ。ナリ。希言トハ。言希ナルナリ。亂朝

若ニ立テ多言ナルハ。禍ヲ招クノ道ナリ。唯言少

ナクメ居レハ。自然ト事ノ落着アルナリ。多言

ニメ急ニ事ヲセントスレハ。必ス誤ル。自然ノ

成リ行キニ任スルカヨキナリ。ナル。其。道。ハ。以

飄風不終朝。驟雨不終日。孰爲此者。天地。天地猶不

能久。而況於人乎。

自然ノ成リ行キトハ。譬ヘハ。飄風ハツチマキ風

ナリ。驟雨ハ夕立チ雨ナリ。此ニツハ。勢ノ厲シ

キ者ナリ、其起リシ時ハ、天地モ震動スル程ノ
日ナリ、然レモ一朝カ一日ノ内ニハ静マルナ
リ、総テ常理ニ反シタルハ、久ク續カヌ者ナ
リ、況ヤ人ノスルハ、於テラヤ、暴亂ノ行ヒヲナ
ス者ハ、久シカラヌメ自滅スルナリ、其期ヲ知
ラスメ、言語ノ上ニテ、急ニ是ヲ改メントスレ
ハ、必ス禍ヲ取ナリ、
故從事於道者。道者同於道。德者同於德。失者同於

失。同於道者。道亦樂得之。同於德者。德亦樂得之。同
於失者。失亦樂得之。

夫故道ヲ守ル者ハ、強ヒテ上ノ仕方ニ逆ラフ
コトハセヌナリ、上タル人道德ニ叶ヒタルコトヲ
スレハ、ソレト同意スルハ勿論ナリ、道德ヲ失
ヒタルコトアリモ、先ツ同意ノ形ヲナスナリ、
計然レモ、惡事ノ繁昌スル勢ヒ、恰モ飄風驟雨ノ
如クニメ、暫時ニ止ムナリ、其時ニ始メテ強ヒ

洪範

老子

廿二

テ諫言ナトセサリシト人皆合點スルナリ、
信不足者有不信。

右ノ一、必竟ハ其人ニ忠信ノ意満足スル故ニ、
傍ヨリ見ル人モ、彼レハ諂諛ヲ以テ身ヲ立ル
者ト思ハヌナリ、モシ我信足ラスノ濁亂ノ朝
ニ立テ、此ノ如クナラハ、イカ程多言ニメ、申譯
ヲナスル人、兼知セヌナリ、

此章ノ主意ハ、唐ノ狄仁傑ノ一ヲ、譬ヘトスレ
ハ、能ク通スルナリ、仁傑ハ一生則天ニ仕ヘタ
ル人ナリ、則天一淫亂ノ女子ヲ以テ、唐ノ社稷
ヲ顛覆シ、國號ヲ周ト改メ、李姓ヲ武姓ニカユル
ニ至ル、然レモ、時ノ勢ト如何トモスヘカラス、
仁傑則天ニ仕ヘ、宰相トナリ、言聞カレ、謀用ト
ラレ、唐室ヲ再興スル志アルモ、果サスノ没シ
タリ、其後仁傑カ薦メ置キタル諸臣、則天カ老
病ノ時ヲ伺ヒ、之ヲ廢メ、唐室ヲ再興シタリ、後

世仁傑ヲ唐ノ忠臣ト稱シ、間然スル者ナシ、若
シ他人ナラハ、如何ソ後世ノ譏ヲ免レシヤ、是
ヲ以テ君子ノ道、忠信ヲ尊ニテ、多言ニ在サル
ヲ知ルヘシ、凡ソ大臣或ハ賢人ナト、亂朝ニ
立テ、忠直ノ道足ラズ、諫言スヘキヲ黙スル
人多シ、ヨク此意ヲ知テ、妄リニ批判ヲ加フヘ
カラサル者ナリ、

將欲諭之章

此章生一却
同本下事
夏同立

將欲諭之。必固張之。

此章ハ、暴國惡人ナトヲ平ケント思フ時ノ仕
方ヲ云ヒタルモノナリ、此二句ハ、弓ノ事ニ譬
ヘテイヘリ、諭ハユルムナリ、強弓アリテ、少
シ之ヲユルメント思ハ、常々ハリツメテ置
クナリ、左スレハ、自然トユルム様ニナルナリ、
人事ヲ以テ云ヘハ、越王勾踐、吳ニ事ヘタル時、
吳ヨリ齊ヲ伐ントス、勾踐加勢ノ兵ヲサシム

之、共ニ齊ヲ打破リ、其上ニテ吳ノ疲レタル處
ヲ襲フテ、之ヲ破レリ、一旦齊ニ勝タシメテ、其
勢ヲハリ、而シテ後ニ打破リテ、之ヲユルメシテ
リ、必固トハ、彼方ヨリ望マス所、此方ヨリ是非
也、其通りニスヘシト云フ意味ナリ、

將欲弱之。必固強之。

相手勢ヒ強クハ、尚々ツヨラセ置テ、其上ニテ
弱ムヘシトナリ、譬へハ、趙ノ李牧カ北邊ヲ守

ル時匈奴來リ攻ムル、雖モ、敢テ戰ハス、專ラ
柔弱ノ體ヲ示シ置キテ、彼方ニ驕ラセ、其上ニ
テ大ニ打破リシ類ナリ、計ハ其ノ如ク、一旦
將欲廢之。必固興之。双心ノ思ハ、一旦
廢ハ横ニ倒ス心ナリ、相手ヲ倒サント思ハハ、
柔ヤ一旦ハワサト是ヲ立テ置キテ、其上ニテ倒ス
ヘシトナリ、晋ノ桓玄カ帝位ヲ奪ハントスル片、
其一族ヨリ其事ヲ劉裕ニ問フタリシニ、劉裕

之ヲ勸メタリ、桓玄已ニ帝位ヲ篡フニ及ンテ、
劉裕兵ヲ起メ之ヲ打セホシタリ、是桓玄帝位
ヲ篡フ時ハ、其惡已ニ盈テ、セホシ易キヲ知リテナリ、
將欲奪之。必固與之。

與ヘ置クヘシ、譬ヘハ、知伯カ土地ヲ韓魏兩家
ニ求メシ時、兩家ヨリ地ヲ割ヒテ與ヘ置キ、其
後趙トカヲ合セテ、知伯ヲ打セシ、其土地ヲ三

ツニ分チシ類ナリ、
是謂微明。

微ハカスカナリ、明ハ光リナリ、敵ヲセホサシ
ト思フ本意ヲ包ミ隱メ、アラハサヌ處ヲ、光ヲ
カスカニスルト云ヒタル者ナリ、
柔之勝剛。弱之勝強。魚不可脱於淵。國之利器。不可
以示人。

前ニ述ヘタル所ハ、柔ヲ以テ剛ニ勝チ、弱ヲ以

テ強ニ勝ツノ方ナリ、何故ニ柔弱ヲ以テスル
 ソト云フニ、其譯ハ、譬ヘハ、魚ハ淵ノ深キ所ニ
 居テ、形ヲ人ニ見セヌ様ニスヘシ、若シ淵ヨリ
 又ケテ淺キ所ニ來リ、形ヲ見ラルレハ、人ニ取
 ラル、ナリ、國ニモ利器ト云フモノアリ、利器
 ハ、刃ノ事ニテ、人ヲ殺ス器ナリ、此利器ハ、猶魚
 ノ如シ、其アリカヲ人ニ知ラシムヘカラス、人
 ニ知ラシムレハ、人是ヲ奪ヒ取テ、却テ我ヲ殺

スニ至ル、信長カ明智ヲ殺ス意アリシニ、明智
 之ヲ悟リテ、却テ信長ヲ弑スルノ類ナリ、故ニ
 利器ヲ人ニ見セヌ仕方、即チ前ノ微明ノ術ナ
 リ、

此章ノ主意ハ、老子平生無爲ニシテ、天下ノ先ト
 ナラス、故ニ惡人暴國ヲ退治スルニモ、此方ヨ
 リ手ヲ出サス、相手ノ自滅スルヲ待ツナリ、後
 人此章ヲ陰謀ノ言ナリトテ、其ハ誤レリ、

待カ向ハフ
下人臣ヲ用
厄セシムルコトハ
兵ヲ用マラズ
ニ至ルコトハ
ノ至ルコトハ

老子ノ本意ハ、ナルタケ人ニモ我ニモキスノ
付カ又様ニノ、取治メシト思フヨリ、此工夫ニ
及ビタルナリ、孔子ノ臨事而懼、好謀而成スト
宜ヒシニ叶ヘリ、伯夷ノ武王ノ紂ヲ伐チ玉フ
ヲ諫メシモ、此意ニテ紂カ自滅スルヲ待玉ハ
ハ、刃ニ血ヲヌラサスメ、天下ハ定マルヘシト
思ヒタルナリ、武王之ニ從ヒ玉ハサリシユヘ
牧野ノ戰ニ、流ルハ血、斃ルハ骨、至レリ、先

儒ノ伯夷少シ老子ニ似タリト評セシモ、此等
ノ處ナルヘシ、總ノ老子ノ學ハ、虚ヨリ實ヲ生
シ、無ヨリ有ヲ生シ、柔ヲ以テ剛ニカチ、弱ヲ以
テ強ニカツヲ至意トセリ、八十一章スヘテ同
様ナリ、人虚無ト云フコトヲ解シチカヘ、一概ニ
其心ヲ死灰ニシ、其形ヲ槁木ニスルコトノミ
心得タルユヘ、此章ニ至リテ疑ヒヲ生スルナリ、

○聖人無常心章

老子道徳経卷上

小徳之入

老子補解卷上

聖人無常心。以百姓心為心。

常心トハ、定リタル心ナリ、是ハ好ム、是ハ惡ム
ト、定リタルトハナク、天下ノ人ノ好ムト好
ム、惡ムト好ム、是百姓ノ心ヲ以テ心トスル
ナリ、

善者吾善之。不善者吾亦善之得善矣。

是ヨリ以下ハ、百姓ノ心ヲ以テ心トスル處ヲ
云ヒタル者ナリ、善者アリテ善事ヲナセハ、吾

之ヲ善トスルハ勿論ナリ、不善者アリテ、吾ニ
向テ惡事ヲナス時、吾亦之ヲ拒マヌメ、矢張善
者同様ノアキラヒニスルナリ、此ノ如クスレ
ハ、後ハ不善者モ恥入りテ、惡ヲセヌ様ニナル、
是不善者ヲメ善ヲ得セシムルナリ、善不善ヲ
擇ハス、同シアキラヒニスル處、常心ナキ所ナリ、
信者吾信之。不信者吾亦信之得信矣。
此モ前ト同シ道理ナリ、信者ヲ信トスルハ勿

老子補解卷上

七九

論ナリ、不信者アリテ、吾ヲ欺ク時、矢張コレヲ
詐信ニメ引受ルナリ、此ノ如クスレハ、氣ノ毒ニ
思ヒ、後ハ詐ヲ云ハ又様ニナル、是不信者ヲメ
信ヲ得セシムルナリ、

聖人之在天下。慄慄為天下渾心。

慄々トハ、落付カ又貌ナリ、心ヲ渾スルトハ、善
惡信不信ヲ差別スル心ノナキ様ニ、一ツニ渾
合スルナリ、モシ差別ノ心アリハセ又カト、氣

遣ヒテヲル處ヲ形容メ、慄々ト云ヒタル者ナリ、
百姓皆注其耳目。聖人皆孩之。

百姓ミナ我ハ善ヲナシ置タリ、我ハ惡ヲナシ
置タリ、我ハ信ヲ云ヒ置タリ、我ハ虚ヲ云ヒ置
タリ、上ヨリ如何賞シ玉フヤ、如何罰シ玉フヤ
ナ、各耳ヲ付ケテ上ノ言ヲ聞キ、目ヲ付ケテ上
ノ所作ヲ見ル、然レモ聖人ノ心ニテハ、皆之ヲ
孩兒ニシテアセラヒ玉フ、孩兒ノスル一ニハ、

善惡モ信偽モナケレハ、唯一様ニアシライテ、
是ヲ育スルマテナリ、此章ノ主意、國ヲ治ムル
ニ、善惡信偽ヲ精シク差別スレハ、限りナク繁
雜ニナルユエ、大抵ニノ置クカヨシト云フ心ナ
リ、ケ様ノ處、人ノ疑フ所ナリ、惡ヲモ善トシ、偽ヲ
モ信トシテ、之ヲアシラヒテモ、若其者カ改メ
スハ、如何セント思フ、其レハ物ノ數ニ暗キナ
リ、人ノ惡事ハ、制禁シテモ、スル丈ケハスルモ

ノナリ、亦制禁セス、凡止マル時ハ止マル、譬ハ
天ハ、商人ノ物ヲ賣ルハ、始メヨリ價ヲ定テ、債ヲ
トルナリ、然レ凡時ニヨリテハ、代錢滞リテ損
失ヲスルトアリ、醫師ノ藥ヲ施スハ、價ヲ論セ、
ス、謝儀ヲ持テ來ル時、多モ少モ同シ、挨拶ニテ
受納スルナリ、然ラハ一向ニ謝儀ヲ贈ラヌ者
多クナリテ、醫師ハ相立又苦ナレ、凡左様ニハ
ナラヌ者ナリ、買物ノ價ヲ償フ者モ、醫師ニ謝

儀ヲ贈ル者モ、同シ人ナレモ、向フヨリハアレ
ラビカ違ヘハ、此方ハ仕方モ亦異ナリ、是ヲ以テ
國ヲ治ムル者ハ、善惡ヲ差別シ、賞罰ヲ分明ニ
スルハ、第一義ノ事ニアラスト云フトヲ知ル
ヘキナリ、

天下有始章

天下有始。以爲天下母。

此章ハ、首章ノ無名天地之始、有名萬物之母ト

云フトヲ申子テ言タルナリ、始トハ無ナリ、一
切ノ有ヲ生ス、是天下ノ母ナリ、

既得其母。以知其子。既知其子。復守其母。沒身不殆。
道ヲ學フ人ハ、先ツ無ト云フ者ノ大切ナルト
ヲ知り、是ヲ守ニ入ル、様ニスルナリ、左スレ
ハ一切ノ有ハ、皆無ノ子トナルコトヲ知ナリ、
其上ニテ、有ニ流レス、本ノ無ニ立チ反リテ、之
ヲ守ルヲ善トス、此ノ如クナレハ、終身殆キ

ハナキナリ、譬へハ、樹木ノ根柢ト枝葉トアル
 二、枝葉ハ根柢ヨリ出ルト云フ、一ヲ知レハ、專
 ラ根柢ニ培カフナリ、左スレハ、枝葉ハソレニ
 随テ繁榮スルカ如シ、
 塞其兌。閉其門。終身不勤。

是ハ知子守母ノ仕方ヲ云ビタルナリ、兌ハ口
 ナリ、口ヲ塞トハ、口ヲ塞キテ言ハヌナリ、イワ
 ユル不言ノ教ナリ、門ハ車ノ出ル處ナリ、門ヲ

閉ルトハ、車ヲ閉テセヌナリ、イワユル無爲ノ
 車ナリ、此ノ如クスレハ、安樂無車ニナリテ、終
 身勤勞スルハナキナリ、是即チ無ヲ守ルナリ、
 開其兌。濟其事。終身不救。
 是ハ母ヲ守テ又害ヲ云フナリ、口ヲ開クハ多
 言ナリ、車ヲナスハ、有爲ナリ、此ノ如クナレハ、
 車ヨリ車ヲ生シ、終身勞苦ニ陥リテ、救フヘカ
 具ラス、

見示曰明。守柔曰強。

是ハ塞兌閉門ノ仕方ヲ示シタルナリ、凡ソ如
何ナル大事モ、其始メハ皆無事ナリ、事ノ小ナ
ル時ニ早ク其手當ラシテ、大事ニ至ラヌ様ニス
開ル。是未だ然ヲ察スルニテ、智ノ明ナル所ナリ、又
堪忍ヲ第一トメ、人ヨリ無理ヲ仕カケタリ、
立腹セヌ、柔順ニシテ居ル時ハ、事ハ起ラヌ者ナ
リ、其堪忍強キ處カ、真ノ強キト云フ者ナリ、見

示ノ明ト、守柔ノ強トヲ以テスル時ハ、事ノ起
ルヘキ所モ、無事ニテ濟ムナリ、
用其光。復歸其明。無遺身殃。是謂襲常。

光ト明トハ、智ヲ形容シタル言ナリ、光ハ外ニ
輝キタル處ニメ、智ノ用ナリ、明ハ内ニ明カナ
ル所ニメ、智ノ體ナリ、道ヲ知ル人ハ、智ヲ外ニ
顯ハサヌメ内ニ隱ス、内ハ本ナル故ニ、復歸ト
言ヒタルナリ、是乃チ知子知母ノ義ナリ、此ノ

下ハ内濟セシト思ヘトモ、夫ニテハ上ノ法度
立又ト云フ、一ニナリテ、聊ノ事モ穿鑿キヒシ
クナリ、後ハ秦ノ苛法ト云フ様ナル事ニナリ
行クナリ、始皇帝ハ、早朝ヨリ夜中マテ、政事ヲ
捌キテモ事スマス、秤ヲ以テ願書ヲカケテ、一
日何斤ツ、ト定メテ、事ヲ決シ玉ヒシナリ、是
開_ニ其兌、濟_ニ其事、終身不救ト云フモノナリ、
他事モ之ニ準メ知ルヘシ、古ノ時ハ葬禮ト云

フ、一ハナク、死スル者ヲハ野ニ棄シナリ、一變
メ之ヲ地ニ埋ル様ニナリ、又變ノ棺ヲ作り、又
變メ、槨ヲ作り、又變メ、明器ヲ作ル、其後ハ段々
美麗ヲ極メ、穴ノ中ニ城郭宮室ヲ構ヘ、數百人
ヲ殉葬スルニ至ル、秦ノ亂ナトハ、始皇墓所ノ
公役多キヨリ起レリ、其他大宰ハ、珍ハ、饑ヲ療
スルヨリ起リ、瓊樓金闕ハ、風雨ヲ掩フニ始マ
リ、黼黻文章ハ、身ヲ包ムニ始マリ、三千ノ宮女

ハ○婚○姻○ノ○子○孫○相○續○ス○ル○ニ○始○マ○ル○何○ニ○事○モ○母○ヲ○
忘○レ○テ○子○ヲ○守○リ○本○ヲ○捨○テ○末○ニ○趨○ル○ヨ○リ○奢○靡○
ニ○流○レ○繁○雜○ニ○成○テ○終○ニ○天○下○ノ○困○窮○ト○ナ○ル○ナ○
リ○此○章○ノ○旨○深○ヒ○カ○ナ○

老子摘解卷下

此章同章
術予見師門中
務修善以與一
利不害深一害
夫利三乃物利
已害也何若
利

老子摘解卷下



苓陽廣先生著

男孝校

以正治國章

以正治國。以奇用兵。以無事取天下。
國ヲ治ルニハ正ヲ以テメ、奇ヲ以テセス、兵ヲ
用ルニハ奇ヲ以テメ、正ヲ以テセス、此ニ句ハ
物事各其宜キ處アルヲ云ヘリ、天下ヲ取ルニ
至テハ無事ヲ以テスヘクシテ、多事ヲ以テス

老子摘解卷下

老子補解卷下
一
ヘカラス、是其宜キ處ナリ、上ノ二句ハ、古今ノ
通例ニテ、人人ノ周ク知ル所ナリ、無事ノ一句
ハ、人人ノ知ラサル所ナリ、故ニ人ノ周ク知ル所
ヲ引テ、其知ラサル所ヲ喻シタル者ナリ、老子
ノ至意ハ、全ク下ノ一句ニアリ、コノ取ルト云
フハ、攻メ取り奪ヒ取ル事ニ非ス、只人ノ心ヲ
此方ヘ懷ケテ、思フトヨリ治ムルヲ云フナリ、
吾何以知其然哉。以此。

此句ハ、無事ヲ以テノ一句ヲ受テ云フナリ、天
下ヲ治ルニハ、無事テナケレハ、テキ又ト云フ
ハ、此譯ヲ以テナリ、此トハ、下ニ云ヘル四ヶ條
ノ事ヲサスナリ、

夫天下多忌諱而民彌貧。

是ヨリ以下ハ、多事ノ惡キヲ擧ケタルナリ、
忌諱トハ、忌ミ嫌ヒナリ、方角時日ナトノ吉凶
ヲ詳ニスルヲ云フナリ、不吉ヲ忌ミ嫌フテ之

保國三原流
言者或信也

ヲ○避○ル○ハ○福○ヲ○得○ン○カ○爲○メ○ナ○ル○ニ○却○テ○貧○乏○ニ
ナ○ル○ナ○リ○一○事○ヲ○舉○ケ○テ○云○ハ○家○相○ヲ○論○ス○ル
者○ハ○ア○リ○キ○タ○リ○ノ○家○ヲ○ウ○チ○ク○ツ○メ○建○テ○カ○ユ
ル○一○ア○リ○其○物○入○リ○身○代○ニ○サ○ワ○ル○ニ○至○ル○是○福
ヲ○求○メ○ン○ト○メ○却○テ○財○ヲ○損○ス○ル○ナ○リ○

人多利器國家滋昏

利○器○ト○ハ○便○利○ナ○ル○道○具○ナ○リ○昏○ト○ハ○物○カ○ワ○カ
ラ○又○様○ニ○ナ○リ○テ○ク○ラ○ヤ○ミ○ニ○ナ○ル○ト○云○フ○一○ナ

リ○譬○へ○ハ○轎○ト○云○フ○モ○ノ○ハ○便○利○ナ○ル○者○ナ○リ○是
ヲ○始○ム○レ○ハ○武○士○ナ○ト○モ○馬○ニ○乘○ル○一○ヲ○休○メ○テ
轎○ニ○ノ○ル○様○ニ○ナ○ル○サ○ス○レ○ハ○馬○術○ス○タ○リ○テ○國
ノ○武○備○カ○昏○ク○ナ○ル○ノ○類○ナ○リ○

民多技巧奇物滋起

技○巧○ト○ハ○細○エ○ヲ○ヨ○ク○ス○ル○一○ナ○リ○奇○物○ト○ハ○正
シ○カ○ラ○サ○ル○者○ナ○リ○譬○へ○ハ○細○エ○ヲ○上○手○ニ○ス○ル
者○多○ク○レ○ハ○廣○金○廣○札○ナ○ト○ヲ○自○由○ニ○コ○シ○ラ○ユ

是世乃之教
公海也

後漢書

ル。様ニナル。是奇物滋起ルナリ、
法令滋彰。盜賊多有。

法令ハ惡ヲ禁スルタメナレハ、夫ヲ明白ニシ
タラハ、盜賊ナトハ絶ユル程ニモアルヘキヲ
却テ多クナルナリ。譬ヘハ、博奕ノ制。禁キヒ
シケレハ、今マテ博奕ヲセシ者トモ、渡世ノ仕
方ナクテ、ミナ盜賊ニナルナリ、

以上ノ四ヶ條、皆國ヲ治ムル人カ、ヨシト思フ

テ始メタル事ナレバ、却テ害ニナル事アリ、是
ニテ多事ハ無事ニ如カスト云フヲ知ルヘ
シトナリ、

故聖人云。我無爲而民自化。我好靜而民自正。我無
事而民自富。我無欲而民自樸。

コ、ハ無事ヲ以テ天下ヲ取ルト云フヲ古
聖人ノ言ヲ引テ、證據トシタルナリ、聖人トハ
黃帝ナトノ類ナルヘシ、下ノ四句ハ、大抵同意

老子論

四

ナリ、爲化靜正事、富欲樸ト韻ヲ合セテ、少シツ
、辭ヲカヘタル者ナリ、大意上タル人ハ、只無
事ニノヲレハ、自然ニ治マルト云フ、一ヲ明カ
シタル者ナリ、

天下ヲ治ムルニ、無事ヲ以テスルハ、老子ノ常
言ナレ、凡、此章ハ、四ヶ條ノ事ヲ舉タル處、至意
ナリ、此四ヶ條ハ、眼前ニアル一ニテ、常人モ心
付、一ナリ、夫ヲ舉ケテ、無事ノ貴キ一ヲ知ラセ

タル者ナリ、

其政悶々章

其政悶々。其民醇々。其政察々。其民缺々。

悶々トハ、フサハケニメ、黑白ノハキトセ又様
子ナリ、醇々トハ、アツキナリ、察々トハ、黑白分
明ナルナリ、缺々トハ、カケタル一アリテ、タラ
又様子ナリ、言フ、口ハ、政事ノ仕方、フサハケ
ニアリテハ、惡シキ筈ナレ、凡、民ノ風ハ、却テア

ツクナリ、政事ノサハケスキタルハ、ヨキ苦ナ
レトモ、事多クナリテ、却テ民カテタラヌ様ニ
ナルナリ、

禍兮福所倚。福兮禍所伏。孰知其極。其無正耶。

此四句ハ、悶々ノ察々ニ勝ルヲ云ハントテ
禍福ノ上ニ就テ、其理ヲ論シタル者ナリ、禍兮
福所倚トハ、禍ハ人ノ嫌フ處ナレト、却テ福ハ
夫ニヨリカ、リテアルナリ、譬へハ、勾踐カ會

稽ニ苦ミシハ、禍ナレト、夫ヨリ忿激ノ霸業ヲ
ナス様ニナレリ、又福ハ人ノ好ム處ナレト、其
中ニ禍カ伏シ隠レテアルナリ、譬へハ、夫差カ
勾踐ニ勝タルハ、福ナレト、夫ヨリ驕ヲ生メ、遂
ニ滅亡ニ至ル、極トハ、動又イナリ、正トハ、定リ
タルナリ、イツレ定リタルヲハ、ナキナラント
云フ心ナリ、四句ハ、大意ハ、禍福ハ定ラス者ナ
リ、悶々タル者ハ、格別ニ福ヲ求メス、禍ヲ避ル

一七少シ夫カ却テ任損ニ少キナリ察々タル者
 ハ、禍ヲ避テ福ヲ求ルヲ、專一ニスル故、任過
 シ出來テ却テ宜シカラヌト云フ心ナリ、
 正復爲奇。善爲妖。民之迷。其日固已久矣。
 此四句ハ、善惡ノ定ラヌト云ヒタルナリ、
 一ト正シト思フテセシ一カ、却テ奇トナル、奇ハ
 正シカラヌトナリ、
 一ト善ト思フテセシ一カ、却
 テ妖トナル、妖モ奇恠ニ入アシキ一ナリ、譬へ

ハ、上章ニ云フ、法令ヲ正シクスルハ、正ナリ、善
 ナリ、然レモ、夫ヨリ盜賊ヲ生スルハ、奇ナリ、妖
 ナリ、銀札ヲツクルハ、民ヲ利スル爲メニテ、正
 ナリ、善ナリ、然レモ、質セ札カ繁昌シ、又ハ國ニ
 正錢カ少クナルハ、奇ナリ、妖ナリ、民カヨキト
 思フテシタル一カ、變ノアシキ一ニナル故、イ
 ツレニ向ヒテ行テ宜キヤラント、方角ニ迷フ
 一カ久シキナリ、此四句ハ前ノ禍福ノ道理ニ

テ、悶々トアレハ、善惡ヲアマリワカタ又故却
テヨシ、察々トアレハ、夫ヲワケ過ス故ニ、却テ
惡シト云フ心ナリ、

是以聖人方而不割。

是以トハ、禍福邪正ハ、定ラヌト云フ故ヲ以テ
ナリ、聖人ノ事ヲ行フハ、四角ニハアレヒ、刀ニ
テ切りタル様ニ、四角スキハセ又ナリ、
廉而不剝。

廉ハカトヒレノアルナリ、剝ハヤワリ傷クル
ナリ、カトヒレアレヒ、餘リカトタチスキテ、ソ
レニ觸タル者ハ、傷カツクト云フ、是トニハセ
又ナリ、
直而不肆。

直ハスクナルナリ、肆ハフフナリ、スクニハア
レヒ、竹竿ナトノ様ニテ、向ヘノブレハ、物ヲツ
クク様ニハナキナリ、

二○白○人○ヨリ○見○レ○ハ、療○治○力○手○又○ル○キ○様○ニ○見○ユ、
然○レ○凡○疾○ノ○悉○ク○ハ○除○キ○難○キ○ヲ○知○リ○テ、尤○様
ニ○ス○ル、是○力○上○手○ノ○處○ナリ、未○熟○ノ○醫○者○ハ、病○ノ
淺○深○體○ノ○強○弱○ヲ○論○セ○ス○シ○テ、病○ト○サ○ヘ○云○ハ、
一○概○ニ○是○ヲ○攻○ル○故○或○ハ○病○愈○テ○體○ツ○キ、或○ハ○病
愈○テ、又○別○一○病○ヲ○生○ス○ル○ナリ、是○力○悶○々○ト○察
々○ト○ノ○チ○カ○ヒ○ナリ、老子ノ言ハ、誠ニ老○切○ノ言
ナリ、未○熟○ノ○徒○ノ○知○ル○所○ニ○非○ス、

天下皆謂我章

天下皆謂我大似不肖。

天下ノ人カ、老子ヲ評メ、廣大ナル人ナレト、不
肖ニ似タリト云フ、不肖トハ、似スト訓メ、取締
リナク、ケ様ニアルト、物ニ譬ヘテ云ハレヌナ
リ、俗ニハツトシタル人ト云フカ如シ、
夫惟大。故似不肖。若肖。久矣其細。
是ハ老子ヨリ、人ニ申シ譯ラシタル言ナリ、世

人ノ申ス所ハ大ナル處ハヨシト雖モ不肖ナ
大ルカアレト云フ心ナルヘケレト大ニアレ
ハ是非トモ不肖ニ見ユルナリモシ物ニ譬ヘ
テ言ハレル様ニナリテハトクヨリ細キトニ
ナルナリ
我有三寶。寶而持之。
天是ヨリ以下ハ人カ老子ノ道ノハツトシタル
所ニ困ルユヘニ形容ヲ設ケテ其方角ヲ合點

三言
一曰慈
二曰儉
三曰不敢為天下先

スル様ニ云ヒタル所ナリ吾道ヲ知ラント思
ハハ我ニ三ツノ寶アリ其譯ヲ知リタラハ目
印シカ出來テ取ツキ處アルヘシトナリ寶而
持之トハ老子平生此三ツヲ大切ナル者ニ又
取ハツサ又様ニシテ居ルトナリ
一曰慈。二曰儉。三曰不敢為天下先。
三寶ノ第一ハ慈悲ナリ慈悲トハ親ノ子ヲ育
ツル如ク善人惡人ハ差別ナク一切之ヲ育テ

一、疵ヲツケヌ様ニスルナリニハ儉約ナ
リ、儉約トハ財用ニ限ルトニ非ス、成丈言フト
一モ爲ストモ少ナキ程ヲヨシトスルナリ、三ニ
ハ人ヨリ先キニ事ヲセヌナリ、何事モ人ノ思
ヒ立タル上ニテ、夫ニ從フテ事ヲスルナリ、天
下トハ一切ノ人ト云カ知シ、此三ツノ處ヨリ、
老子ノ道ヲ學ビナハ、其方角カワカルヘシ、
慈故能勇。

是ヨリ三寶ノ功能ヲ述ヘタルナリ、慈悲ニア
ル故ニ、強敵ニモ能ク勝ツ、コレ勇ナリ、漢ノ高
祖ノ寛仁ヲ以テ、項羽カ強暴ナルニ勝ツノ類
ナリ、
儉故能廣。

儉約ニアル故ニ、施シカ廣ク一切ニ及フナリ、
漢ノ文帝ノ百金ヲ惜ミテ、露臺ヲ作り玉ハサ
リシカレ、天下ノ民ニハ、シハシハ租税ヲ免シ

玉ノノ類ナリ、
不敢為天下先。故能成器長。

成器長トハ、一器量アル者ノ頭ナリ、漢高祖國
ヲ治ル。一ハ、蕭何ニ委子、謀畧ハ、張良ニ問ヒ、合

戰ハ、韓信ニ任セテ、自己ノ了簡ヲ用ヒサルノ
類ナリ、

今捨慈且勇。捨儉且廣。捨後且先。死矣。
コ、ハ三寶ヲ用ヒサル者ノ害ヲ云フナリ、且

トハ、先ツト云フ心ナリ、慈悲ヲサシヲキテ、先
ツ最初ヨリ勇ヲスレハ、敗ル、項羽カ如キ者長
ナリ、儉約ヲサシヲキテ、最初ヨリ手廣クセニ
トスレハ、窮乏ニ至ル、漢ノ武帝ノ如キ者是ナ
リ、人ニ後レスシテ、最初ニ事ヲ仕始ムレハ、七
フ、陳涉吳廣カ如キ者是ナリ、品ハカハレテ、孰
レモ死七ヲ取ル仕方ナリ、
夫慈以戰則勝。以守則固。天將救之。以慈衛之。

大コ、ハ又慈ノ功能ヲクリカヘシテ云ヒタル者ナリ、三寶ヲ残ラスイヘハ煩ハシキ故ニ、第一ノ事ヲ舉ケテ、餘ノニツヲ略セシナリ、慈ト云フ、一他事ニハヨシトイヘトモ、戦闘ノ上ニハ用ヒ難シト思フ人アリ、是然ラス、以戦則勝トハ、仁ヲ以テ不仁ヲ伐ツユヘニ必勝ナリ、以守則固トハ、我士卒ミナ仁恩ニ懐キタルユヘ、籠城シテモ、二心ナク守ルトリ、慈ヲ以テ身ヲ

守ル者ハ、假令敗北スル、了リ凡、大方ハ天ノ救ヒカアル者ナリ、故ニ滅セスルニ至ル氣遣ヒナシトナリ、或問テ曰、老子ハ、道可道非常道ト云フテ、仁義孝悌等ノ名目ヲ捨テ、專無名ヲ貴ス、然ルニ今三寶ノ名ヲ立テ、人ヲ教ユル者ハ、何ソヤ、答テ曰、三寶ト云フ、一、實ニ其名目アルニ非ス、只一箇ノ無ノ字ヲ形容シタル言ト知ヘシ、只無ヲ

守リテサヘヲレハ、自然ト物ヲ害ヒ傷クル
ナシ、其處ヲ慈ト云ヒタルナリ、無ヲ守レハ、多
事ナラス、多慾ナラス、故ニ自然ト儉ニナリ、無
ヲ守レハ、事ヲ思ヒ立ツトナク、自然ト人ノ後
ニナル、始ヨリ三ヶ條ト立テ、之ヲ守ルニハ、ア
ラス、然ルヲ寶トメ之ヲ持スルト云ヒシハ、人
不肖ニ似タリト云ヒシ故ニ、己ムトヲ得ヌノ其
方角ヲ知ラセタル者ナリ、讀者辭ニ泥ムヘカラス、

善爲士者不武。

此章ハ、不爭ノ徳ヲ明カニセリ、士ハ武ヲ貴フ
者ナレト、善キ士ニ至リテハ、武猛ニハ見ヘ又
ナリ、韓信カ胯下ヲク、リテモ、劍ヲ抜カサリ

善戰者不怒。

戦ヒハ怒リヲ至トスル者ナレト、上手ハ然ラ

ス、司馬仲達カ孔明ヨリ巾幗ヲ贈リテ辱メタ
善レ然ニ怒ラスメ戰ハサリシカ如シ、
善戰者不與。

與スルトハ、相手ニナルナリ、梁ヨリ趙ヲ圍ム時、
孫子齊ノ將トナリテ趙ヲ救フニ、趙ニ趨カスレテ
梁ヲ襲ヒタレハ、趙ノ圍ハ自ラ解ルノ類ナリ、
善用入者爲之下。

漢ノ高祖ノ我不如蕭何、不如韓信、不如子房ト

云ヒテ、三傑ヲ用ヒ玉ヒシカ如シ、
是謂不爭之德。

是ヲトハ、以上ノ四ヶ條ヲ一ツニメ言ヒタル
ナリ、一言ニイヘハ、皆向ノ人ト不爭シテ之ニ
古勝ツノ法ナリ、

是謂用人之力。
又其上ニモイヘハ、已カカヲ用ヒスメ、人ニ骨
折ラセテ功ヲ立ル仕方ト云フモノナリ、

孫子兵法上
用
臣者出治而度
之用也

是謂配天。

尚モ其功ヲ贊メイハハ、天ノ萬物ヲ主宰シ玉
フ妙所ニ配合ノ同シナリ、

古之極也。

コ、ハ古聖人極意秘密ノ傳ナリ、及ス及スモ
贊歎シタル辭ナリ、
用入ノ力ト云フ、人ヲ用ルニ限ラス、合戰ノ
時モ、敵ヨリ戰ヒヲ挑メ、固ク守リテ戰ハサ

易之甲子
年六十一
云

レハ、彼自ラ疲ルハナリ、其疲レヲ伐テハ勝子
易シ、是敵ニ力ヲ用ヒサセテ、敵ニ勝ツナレ
ハ、敵ノ力ヲ我方ニ用ユル道理ナリ、是老子秘
訣ノ處ナリ、堯舜此秘ヲ得玉フ故ニ、垂拱メ天
下治マリ、孔子此秘ヲ得玉フ故ニ、不憤不啓、不
排不發、三千弟子ノ才徳ヲ成就シ玉フ、造化
此秘ヲ得ル故ニ、無爲ニノ四時行ハレ、百物生
スルナリ、故ニ古之極也ト贊歎セシ者ナリ、

出生入死章

出生入死。生之徒十有三。死之徒十有三。民之生動
之死地。亦十有三。夫何故。以其生々之厚。

此章ハ、世人長生ヲ貪リテ、却テ其壽命ヲ損ス
ルノ惑ヒヲ解キタル者ナリ、出生入死トハ、人
間一生、生ノ朝ヨリ死ノ夕ニ至ル迄ヲ束子テ
云ヒタルナリ、生ヲ出テ死ニ入ルハ、誰モ同シ
ナレバ、其中ニ養生ノ道理ニ叶ヒタル行ヒ

ル者、十ニシテ三ナリ、是ハ惡ヲセズ、不養生ナ
ルヲ慎ム類ナリ、長生ノ道ニ叶ヒタル故、生
ノ徒ナリ、又生ノ欲ヲ恣ニシ、不養生或ハ惡業
ヲスル者十ノ三、是ハ死ノ徒ナリ、又長生ヲセ
ント思ヒ、種々ノ道ヲ盡スト雖モ、善ト思ヒシ
力、却テ惡トナリ、養生力却テ不養生トナリ、
其命ヲ縮ムル者ナリ、是亦十ノ三ナリ、生々ト
ハ、吾身ヲ養フナリ、厚トハ、念力入り過ク

ト云フ心ナリ、此章ノ意ハ、生ノ徒死ノ徒ト分
ケタルハ、誰モ知ルヲナリ、唯生々ノ厚キ故ニ、
命ヲ縮ムト云フ、人ノ心付カ又處ナリ、生ノ
徒死ノ徒ハ容ナリ、生動モスレハ死ニ之クト
云フ、此章ノ至意ナリ、
蓋聞善攝生者、陸行不遇兕虎、入軍不避甲兵。
吾聞トコロヲ以テスレハ、上手ニ養生ヲスル
者ハ、山中ニ獨行シタリ、兕虎ノ如キ猛獸ニ

出合ヒ、傷ケラル、氣遣ヒナシ、又軍中矢石ノ
中ニ入りタリトテ、傷ケラル、ナシ、夫故甲
兵ヲ避ル用心ニ及ハヌナリ、
兕無所投其角、虎無所措其爪、兵無所容其刃。
其故ハ、兕モ角ヲ以テツクヘキ場所ナク、虎モ
爪ヲ少チカクル所ナク、兵モ刃ヲ用ユル所ナ
ク、夫故何ノ氣遣ヒニモ及ハヌナリ、
夫何故、以其魚死地焉。

同ク肉身ナルニ、左様ノ一ニ逢フ氣遣ヒナシ
 トハ、何ヲ以テ知ルヤ、畢竟死地ト云フ者ナキ
 故ニ、一切ノ心遣ヒニ及ハヌナリ、死地トハ人
 ノ生死ハ、皆吾身ニ兼子テ所持シタル場所ア
 リ、生ニハ生ノ地アリ、死ニハ死ノ地アリ、人ニ
 ヲリテ異ナルナリ、尤ソ死スル者ハ、皆死スヘ
 キ場所ヲ我身ニ所持シテアルナリ、故ニ時節
 到來スレハ、是非凡死ヲ免レス、生地ヲ所持シ

タル者ハ、死スル氣遣ヒナシ、故ニ危キ場所ニ
 臨ミテモ、氣遣フ一ハナキナリ、譬へハ、疫癘ナ
 ト大ニ行ハレタルニ、十人ニハ人死シ、二人ハ
 何ノ病モナシ、是ハ人ノ者ハ、死地アリ、二人ハ
 死地ナキカ故ナリ、凡人ノ目テ見レハ、生地死
 地ハ事ノ迹ヨリ見ルニ非レハ、知リ難シ、有道
 者ノ上ニテハ、至テ明カニ見ユル故、用心スル
 ニモ及ハヌナリ、其故ハ、生死皆數アリ、數満テ

而ノ死ス、有道者ハ兼テヨリ數ヲ見透シタリ、
夫故トテモ死ノ到來スル時節ハ、當分ハナキ
ト云フヲ、明カニ悟リタル故、騷カヌナリ、古
人ノ身分ニ譬ヘテ言ハ、柳下惠カ魯ニ居リ、
蘧伯玉カ衛ニ居リ、晏平仲カ齊ニ居リ、季札カ
吳ニ居リ、張良カ漢ニ居ルノ類是ナリ、爭奪變
化ノ間ニ居リ、衆人皆危フメ、己ハ晏然トシ
テアルハ、我ニ死地ト云フ者ナキヲ、自ラ知

リテ居ルナリ、是衆人ノ目ニカ、ラヌナリ、
知者獨リ知ルノ境ナリ、老子ノ意深ヒカ、

治人事天章
治人事天莫如嗇。

是ハ老子ノ道ニ、十字ノ秘傳アルヲ云ヘリ、
治人事天トハ、帝王ノ業ヲサシタルナリ、帝王
ノ職ハ、下ハ下民ヲ治メ、上ハ上天ニ事フルナ
リ、王者ノ道、唯嗇ノ一字緊要ナリ、嗇トハ、節チ

吝嗇ノ嗇ノ字ナリ、然レ凡財用ノ一ハ至ニ非
 ス、萬事ニ付ケ、儉嗇ナルヲ善トス、事ヲスルモ
 言ヲ言フモ、一切ノ一、是ヲ惜ミテセ又様ニス
 此、是カ嗇ノ理ナリ、嗇ハ財用ノ一トモ云ハレ
 夫唯嗇。是以早復。

嗇ヲ尚フユエシハ何ソヤ、人ハ氣ニ因テ立ツ
 者ナリ、草木ノ根抵アルカ如シ、多事ノ人ハ氣
 ヲ勞スル一強キ故、元氣早ク衰ユルナリ、譬へ

ハ、草木ヲ朝暮ニ植へ易ユルカ如シ、氣ト體ト
 離レテ枯ルナリ、枯レサルモ亦傷ム、嗇ニノ居
 レハ、元氣動カス、一旦元氣衰へテモ、元ノ通り
 ニ復ルナリ、夫故、氣カ丈夫ニナリテ、妄ニ動カス、
 早復謂之重積德。

元氣早ク復スレハ、其後氣ヲ損スル一ヲセス、
 故ニ、氣カ段々積ミ重ナルナリ、氣ハ即チ徳ナ
 リ、一切ノ事ノ本トナル、故ニ是ヲ徳ト云ヒタ

ルナリ、

重積徳則無_レ不_レ克。

克セサル_一ナシトハ、如何様ノ_一ニ差向ケテ
モ、少シモ退屈スル_一ナシ、氣ヲ能ク煉リタル
者ハ、久ク食ハス所、餓ル_一ナシ、寒中ニモ、衣服
ヲ假ラスシテ凍ルト云フ_一ナク、或ハ水火ニ
扱シ、兵刃ニカ、リテモ、亦傷ク_一ナシ、是ヲ無
_レ不_レ克ト云フナリ、

無_レ不_レ克則莫_レ知其極。可以有_レ國。

莫_レ知其極トハ、長壽ナルヲ云フ、此ノ如クナレ
ハ、其身ヲタモツノミナラス、國家モ亦タモツ
可シ、凡ソ國家ヲタモツハ易ク、身ヲタモツハ
難シ、既ニ能ク長壽無涯ナレハ、其道理ヲ以テ
國家ヲタモツハ、一層易キ_一ナリ、
有_レ國之母。可以長久。

肉身サヘ堅固ニシテ、數百年ヲ經ル、況ヤ國家ヲ

ヤ、人ヲシテ壽ナラシムルハ氣ナリ、此氣ト云
フ者、一切ノ物ヲ生スル故、是ヲ母ト云ヒタル
ナリ、身ニ在テハ身ヲタモテ、國ニ在テハ國ヲ
タモツ、一切ノ母ヲ我物ニシタル者ナリ、
是謂深根固蒂。長生久視之道。

此蓄ノ字ヨリエ夫スレハ、氣ニ氣カ積モリテ、
際限ナキコトナル、譬ヘハ、金銀ヲ使フコト少キ
程增長スレハ、其富限ナクナル道理ナリ、深根

トハ、草木ノ根ヲ深ク土ニ埋メ置キテ動カサ
ヌカ如シ、固蒂ハ、果ノ蒂ヲ固クシ、其實ヲ動カ
サス、烈風ニ逢ヒテモ、落ルト云フコトナシ、皆元
氣ノ本ヲ深ク養ヒタルコトナリ、是ハ元來長生
久視ノ道ナリ、久視トハ、一ノ物ヲ終日見ツメ
テモ、瞬セヌコトナリ、元氣満足スル者、カクノ如
シ、此所ハ、老子平日身ニ行フテ、覺ヘノコトナ
リ、因テ其道ヲ治國ニ施スナリ、

此章ハ老子ハ養生家ニテ、仙術ヲ行フ者ノ祖トスル所ナリ、養生治國一理ナリ、因テ今國家ヲタモツ者ノ爲メニ、其法ヲ説キ、養生ノ理ヲ以テ之ヲ治國ニ施スナリ、一部ノ中、其理處々ニ見ヘタリ、唯此番ト云フ一字ハ、其義極テ淺ク、平人モ修行成就スヘキナリ、故ニ之ヲ釋ス、我朝ノ江村專齋百歳ノ壽ヲ保チシ人ナリ、後水尾天皇ヨリ養生ノ方ヲ問ヒ玉ヒシ

ニ對ヘテ、臣平日一ハ此ハ字ヲ持スルノニ、飯ヲ喫スルモ此言語モ此一切ノ作事モ此養生モ亦些ト對ヘタリ、此ハ字、即チ番ノ義ナリ、

天下有道章

天下有道。卻走馬以糞。天下無道。戎馬生於郊。

此章ハ、多欲ノ害ヲ言ヒタルナリ、天下有道トハ、明至上ニ在テ、諸侯各ノノ封疆ヲ守テ勤カサル時ノ事ナリカ、ル時ハ、千里ヲ走ル駿馬

アリト雖モ之ヲ合戦ニ用ユル一無キ工工、無
 用ノ物ナリ、故ニ之ヲ卻ケテ田ニ培フノ用ト
 スルナリ、天下無道ニ人諸侯相争フ時ニ至リ
 テハ、郊野ニアル農夫ノ馬マテモ之ヲ引上ケ
 テ、戎兵ノ用ニスルナリ、有道無道ノ差別ハ、他
 ノ事ニアラス、已カ分ニ安ンノ無欲ナルト、人
 ノ物ヲ我物ニセント思フ多欲ナルトニアル
 ナリ、

罪莫大於可欲。禍莫大於不知足。咎莫大於欲得。

此ハ上ノ戎馬生於郊ト云フヲ兼ケテ言ヒタ
 ルナリ、諸侯ヨリ他國ヲ伐ツニハ、必彼方ハ罪
 ナク鳴ラズ、征伐スルナリ、然レモ其實ハ罪アル
 ニ非ス、其土地ヲ奪ンカ爲メナリ、土地ト云フ
 者ハ、人ノ欲スル物ナリ、人ノ欲スル土地ヲ我
 所持シタルカ、即チ罪ノ種ナリ、又他國ヲ侵メ
 兵敗レ滅亡ニ至ル者アリ、是禍ナリ、咎ナリ、此

禍ト咎トハ、兵ノ用ヒ方カ悪キニハ非ス、元來
己カ國ヲ持チカエ夫ヲ不足ニ思ヒ、尚モ隣國
ノ地ヲ我物ニセント思フ欲心、即禍ト咎トハ
種ナリ、
故知_レ足之足常足。

前ノ通りノ譯ユヘニ、人ハ足ル_レヲ知ルニ如
クハナシ、人ノ欲ニモ大小アリ、天下ヲ得テ足
レリトスルアリ、一國ヲ足レリトスルアリ、一

家ヲ足レリトスルアリ、是等ノ人ハ、皆己カ望
ミアリテ其望ニ滿サレハ不足トス、但足ル_レ
ヲ知ル者ハ然ラス、天子トナレハ、天下ヲ以テ
足レリトシ、士庶人トナレハ、一簞ノ食一瓢ノ
飲ヲ以テ足レリトス、分ニ隨ヒ、命ニ安ニスル
故ニ、多キモ亦足り、少キモ亦足ル、是ヲ常ニ足
ルト云フ、

此章ハ、深ク人ノ欲ヲ戒メタルナリ、韓信、彭越

ハ、謀反ニテ誅セラレタレ、凡、實ハ謀反ハ罪ハ
 小ナリ、大國ヲ領シタル罪カ大ナル故ニ殺サ
 レタリ、吳王濞ハ七命ヲ納レ、鹽ヲ煮、錢ヲ鑄ル
 ハ罪ヲ以テ削ラレタリ、然レ凡、其罪ハ小ナリ
 是モ大國ヲ領シタル罪カ大ナル故ニ削ラレ
 タリ、大國ヲ領スルハ、罪ニハ非レ、凡、罪ヲ得ル
 根源ハ、此處ニアル故ニ、罪ト云ヒタルモ、ナ
 リ、是罪莫大於可欲ハ、義ナリ、又韓信カ雲夢ニ

擒ニセラレ、長樂ニ誅セラレシ禍咎ハ小ナリ
 是ハ免ル、仕方モアルヘシ、初メ足ルトヲ知
 ラス、人齊ニ假玉タラシトヲ欲セシ禍咎ハ大
 ナリ、此一念滅族ハ根源ニメ、救ヒカタキ所ナ
 リ、是ヲ禍莫大於不知足、咎莫大於欲得ト云ハ
 ルナリ、世人ノ罪禍ヲ避ルハ、其末ニ心ヲ用ヒ
 老子ハ其本ニ心ヲ用ヒタリ、是老子教ヲ施ス
 ノ深切ナル所ナリ、等閑ニ看過スヘカラス、

吾言甚易知章

吾言甚易知。甚易行。天下莫能知。莫能行。

此章ハ、世上ノ人、老子ノ意ヲ知ルモノナキ又
 感歎ノ云ヒタルナリ、吾言ハ知リ易ケレト、知
 ル人ナク行ヒ易ケレト、行フ人ナシ、難クメ知
 ラス行ハサルハ、是非モナシ、易キヲ知ラス
 行ハサルハ、實ニ歎息スヘシト云フ心ナリ、
 言有宗。事有君。夫唯無知。是以不我知。

此段ハ、易キ事ナレト、知ル人ノ少キ所以ヲ言
 フナリ、凡ソ天下一切ノ言ノ中ニ、宗ニナル言
 アリ、宗トハ本家ノ一ニメ、至トナルナリ、一切
 ノ事ノ中ニ、君トナル事アリ、其譯ヲ知ル者、
 シ、老子ハ平日言ノ宗ヲ云ヒ、事ノ君ヲ行フハ
 ナリ、世人其所ニ目ヲ附ケス、故ニ老子ノ貴ヲ
 可キヲ知ラヌナリ、言ノ宗トハ何ソヤ、不言
 ノ教是ナリ、事ノ君トハ何ソヤ、無爲ノ事是ナ

學
聖
心
正
存
心

リ。我事アレ。凡言ハス、人ノ言ヲ以テ言トス、此
ノ如クナレハ、言天下ニ盈ツレ、凡口ノ過チナ
シ、我事アレ。凡爲サス、人ノ事ヲ以テ事トス、此
ノ如クナレハ、行ヒ天下ニ盈ツレ、凡怨之惡マ
ル。事ナシ、此ノ如クナレハ、逸アリテ勞ナシ、
功アリテ過チシ、是ヲ言ノ宗事ノ君ト云フナ
リ、

知我者稀。則我者貴矣。是以聖人被褐懷玉。

人ノ我ヲ知ラヌハ、歎スヘキナレ、凡其實ハ
知ル者少キカ貴キ道理ナリ、譬ヘハ、夜光ノ珠
モ、家コトニ所持シタル者ナラハ、石瓦モ同然
ナリ、世上ニナキ者ヲ、我ノミ珍藏シタル故ニ
貴キナリ、是ヲ以テ、昔ノ聖人モ被褐懷玉人ア
ルナリ、褐ハ賤者ノ服ナリ、玉ハ徳ニ譬ヘタル
者ナリ、被褐懷玉トハ、貧賤ニ居テ徳ヲ包ミ隱
シタルヲ云フ、傳説カ胥靡トナリ、太公カ渙父ト

ナル是ナリ、老子柱下ノ史トナリシモ、亦其心ナリ、

和大怨章

和大怨必有餘怨。安可以爲善。此章ハ、人ト和合スルトヲ言ヘリ、大怨トハ、兼テ其人ニ意恨アルナリ、意恨アル者ハ、人取アツカヒテ和睦スル者ナリ、然レモ表向キハ和合シテモ、心ノ中ニハ怨ミ殘ル、是人情ナリ、其

通リニテハ、和睦モ詮ナシ、和睦スルカラハ、一向ニ殘ルトナキ様ニアル可キナリ、

是以聖人執左契而不責於人。

左契トハ、手形ノ一ナリ、凡ソ古ノ時、物ヲ假シ借リスルニ、手形ヲ以テ證據トス、一枚ノ手形ヲ中ヨリニツニ割り、其左ヲ假シ至此ヲ藏シ置キ、右ヲ借ル者ノ方ニ藏ノ證據トス、是通法ナリ、左契ヲ取テサヘ置ケハ、何時モ催促ノ是

ヲ取ルニ、彼方ヨリ申分ハナキナリ、然ルニ聖
 人ハ、其左契ヲ所持シタルノミニテ、用ニ立ル
 一ハナシ、サキモトカ損ヲカケタリ、夫ヲモ
 寛恕ノ責ルト云フハナシ、俗ニ所謂證文カ
 モノヲイフ時節ハナキナリ、是ハ賤用假借ノ
 一○事ヲ以テ譬ハニスルナリ、聖人ノ仕方ハ萬
 事其通りニテ、此方ニハイヤオウナラヌ理窟
 ハアレ、凡夫ヲ言ヒ立テス、向フノ無理ナル願

ヲモ其通ニノ置クナリ、夫故意恨ノ殘ルト云
 フテ決シテナキナリ、

有徳司契。無徳司徹。

徹トハ、證文ノ表ニヨリテ、理ノ當然ニ捌キヲ
 付ルナリ、契ヲ用ニ立ルト立テサルトハ、其人
 ノ徳義ニヨル、徳アル者ハ、契ヲナヲシヲキテ
 用ニ立テス、是司契ナリ、徳ナキ者ハ、夫ヲ取り
 出メ、是非凡證文ノ表ニヨツテ取り計フ、是司

徹ナリ

天道無親。常與善人。

右ハ如クナレハ徳アル者ハ證文ヲ用ニ立テ
ス、始終身ハ損ヲスル譯ナリ然レハ左様ハ善
人ニナリテハ天道ヨリ其ミカタヲナサル故
運窮マリテ行キ止レスルト云フハ決シテ
ナキトナリ、天ハ萬物ノ命ヲ制スル者ナリ、天
道ヨリ御覽メ其善人タルヲ御推察アル故

萬事ニ付テ、天ノタスケアルナリ、夫故何ニモ
心遣フイハナシ、此章ノ主意、物事ヲ刻薄ニス
ルハ、利勝手ノ様ナレバ、實ハ然ラス、寛恕スル
程、却テ運ニ叶フ者ナリ、平人ノ身ノ上ニ、此ノ
如キ類極テ多シ、聖人ハ之ヲ萬事ニ用ヒ玉フ
故ニ、猶更其功德大ナルヲナリ、

小國寡民章

小國寡民。使有什伯人之器而不用。使民重死而不

遠徙。此章ハ天下ヲ治ルヲ云ヘリ言コ、口ハ我

ヲメ天下ヲ治メシメタラハ此ノ如クアラシ

ムヘシトナリ小國トハ國ヲ小ニスルナリ寡

民トハ民ヲ寡クスルナリ天下ノ治マリ難キ

ハ諸侯ニ大國アル故ナリ我ヲメ天下ヲ治メ

シメハ諸侯ノ内ニ大國ヲ立テス盡ク其國ヲ

小ニス可シ國小ナレハ民モソレニ從テ寡ク

ナルナリ什伯人之器トハ或ハ舟車或ハ武具

ナト諸侯ノ所持セテ叶ハヌ道具ヲハ什人前

カ、百人前カ具ヘラケル是モ具ヘタルノミニ

メ、用立ツトハナキ様ニスルナリ又民百姓ノ

風俗命ヲ大切ニスルヲ至意トメ過分ノ望

ミヲセス故郷ヲ去テ他國ニ往キ立身ヲ望ム

ナト云フ一カツテナキ様ニスルナリ此三句一

章ハ大意ナリ

雖有舟輿。無所乘之。雖有甲兵。無所陳之。使民復結繩而用之。

此段ハ、十百人ノ器アツテ用ヒスト云フヲ羨クテ之ヲ釋シタルナリ、舟アリ車アリト雖モ、他邦ニ往クナケレハ、之ニ乘ルニ及ハス、甲兵アリト雖モ、合戦スルナケレハ、之ヲ陳スルニ及ハス、又昔ハ文字ナクメ、繩ヲ結ヒテ物事ノ心覺ヘニセシ如ク、文字書契ヲトリ用ル

ホト人々千イリタルナハナク、久再ヒ古昔ノ如ク、繩ヲ結ヒテ、是ヲ用ル様ニアラシメントナリ、甘其食。美其服。安其居。樂其俗。隣國相望。雞狗之聲相聞。民至老死。不相往來。

此段ハ、死ヲ重シメ遠ク遷ラスト云フヲ羨クテ之ヲ釋セリ、甘其食トハ、己カ用ヒ來レル蔬食ヲ、天下ノ美食ノ如ク思フナリ、是ハ世上ニ美食ト云フモノアルナリヲ知ラヌ故ナリ、美其

服安其居、樂其俗、亦同意ニテ、疏服ヲ美服ト
 思ヒ、不自由ナル居宅ヲ朱門雕牆ノ如クニ思
 ヒ、田舎ノ風俗ヲ都ニ勝ル様ニ思フ、皆世間ノ
 事ヲ見聞セ又故ナリ、鄰國相望、雞狗之聲相聞
 下ハ至テ近キ所ヲ云フナリ、五町カ三町ノ隔
 テニテ、彼雞狗ノ聲モ此ニ聞ヘ、此ノ聲モ彼
 ニ聞ユル程ニアリナリ、然レモ其中ニ生長ス
 ル民、老死ニ至ル迄、互ニ往來スルナリハナキナ
 リ

リ、是ハ何事モ其地限リニテ、用事辨スル故ニ、
 自然ト界ヨリ外ヘ出ルナクハ無クテスム様ニ
 ナリナリ、
 老子此書ヲ著ス、身ヲ脩ムル爲メノニニ非
 ス、天下ヲ治メシカタメナリ、故ニ一部ノ終リ
 ニ至リテ、道ヲ以テ天下ヲ治ムルノ功用ヲ形
 容メ、人ニ示シタル者ナリ、言コ、口ハ我ヲノ
 天下ヲ治メシメハ、此ノ如クスヘシ、然ラハ當

世ノ如ク、文華ナルヲモナク、又合戦争奪スル
 一モナクシテ、天下太平ナラントナリ、少國寡
 民ト云フヲ、古來ヨリ、試ニ小キ國寡キ民ヲ
 得テ治メタラハト云フ一ニ解ケリ、甚誤レリ、
 老子ノ意ハ、天下ヲ治ムルニアリモ、唯一ノ
 小國ヲ右ノ如クニ治メタリ、隣國ヨリ來リ
 侵ス、一アヲハ、何ヲ以テカ無事ナルヲ得ン
 ヤ、故ニ前ニ釋セシ如ク、國ヲ小ニシ、民ヲ寡ク

計スルノ義ニ見ルヘキナリ、古ノ制ニ、大國ハ百
 里ニ過キスト、定メタレトモ、其實ハ、晋楚齊秦
 ナトハ、初ヨリ數百里ノ地ナリ、是小國ヲ并吞
 スル故ニ、大争奪ノ基ナリ、且又民モ封境ノ内
 ハ、自由ニ往來スル者ナレハ、百萬石ノ國ナレ
 公民モ百萬石ノ中ヲ往來ス、其中ニアル一ヲ
 殘ラズ見聞スルナリ、一萬石ナレハ、一萬石ノ
 間ノ事ニ限ルナリ、故ニ國ヲ小ニスル程、民ノ

信言不美

外。出。ス。ル。一。遠。カ。ラ。ス。其。見。聞。ス。ル。所。狭。ク。ノ。世。
上。繁。華。ノ。風。俗。ニ。遷。ル。一。ナ。キ。ナ。リ。老。子。ノ。心。ハ。
我。モ。シ。天。下。ノ。宰。タ。ラ。ハ。今。ノ。諸。侯。ノ。數。千。ア。ラ。
ハ。是。ヲ。五。千。ニ。モ。一。萬。ニ。モ。分。テ。百。里。ノ。國。ヲ。
ハ。五。十。里。カ。三。十。里。ニ。ス。ヘ。シ。此。ノ。如。ク。ス。レ。ハ。
天。下。ハ。治。リ。易。シ。ト。ナ。リ。

信言不美章

信言不美。美言不信。

此章ハ、八十一章ノ終リニテ、老子自ラ著書ノ
大意ヲ殘ラス揭ケタルナリ、先ツ第一一人ノ
言ニ信言アリ、美言アリ、信言ハ、何事モ實情ヲ
言ヒタル故、聞テ格別味ノアルトイフ一ハナ
キナリ、美言ハ、昔キ言ナリ、美ハ昔ニト云フ心
ナリ、是ハ如何ニモ味アル様ニ覺ユレ氏、元來
虚ヲ飾リタル言ニテ、誠ノ用ニ立チカクシ、
善言不辯。辯言不善。

又言ニ善言トテ人ノ爲メニナル言アリ是ハ
辯舌ニ任セテスラト言ヒタル言ニハ非
ス夫故聞者耳ニ通徹メ感心スル様ニハナキ
ナリ辯言トハ自由自在ニ辯ヲ馳セテ面白キ
様ニアレト人ノ爲メニハナラヌナリ

知者不博博者不知

又人ノ言ニ知者ノ言アリ是ハ信實ノ道理ヲ
見タル者ニテ博學多聞ニ亘ルナリ博者ト

公。種。々。ノ。道。具。ヲ。澤。山。ニ。並。へ。立。ル。白。人。夕。マ。シ。
ノ。學。問。ニ。テ。親。切。ノ。言。ニ。ハ。非。ス。

以上ノ三說大抵一意ナリ老子公平生信言ヲ
言ヒテ美言ヲ言ハス善言ヲ言ヒテ辯言ヲ言
ハス學問ノ流義モ簡要的實ナル道理ヲ言ヒ
テ道具ヲ澤山ニスルナリ故ニ世俗ニ合ハス
五千言皆其通りナリ聞人篤ト信美善辯知不
知ノ差別ヲ知リテ而メノ五千言始メテ用

二立ナリ、是、道ナリ、此、章ノ上、節トス、言、既、以、人、已、愈、多、
 聖、人、不、積、既、以、爲、人、已、愈、有、既、以、與、人、已、愈、多、
 叔、右、ノ、言、ニ、品、ア、ル、一、ヲ、知、リ、テ、而、シ、テ、ノ、千、五、千、
 言、始、メ、テ、用、ニ、立、ナ、リ、夫、ニ、付、テ、第、一、簡、要、ノ、心、
 得、ハ、老、子、ノ、道、ハ、無、欲、ヲ、貴、フ、常、人、ハ、金、銀、財、寶、
 知、日、升、又、一、切、入、モ、大、皆、已、ニ、積、ニ、蓄、フ、ル、ヲ、貴、フ、
 老、子、ハ、少、モ、已、ニ、蓄、フ、ル、ト、云、フ、一、ナ、ク、之、ヲ、散、
 ヲ、人、ト、共、ニ、ス、ル、ナ、リ、是、世、人、ノ、第、一、ニ、難、ス、ル、

處ニテ、トテモ行ヒ難シト思ヘリ、其實ハ人ノ
 爲メニスレハ、已カ物ハ愈有リ、愈多クナル者
 ナリ、其證據ハ、范蠡再タヒ千金ヲ散シタレト
 七、其身ハ愈富有ニテ、陶朱公ト云フ天下第一
 ハ福人ニナレリ、漢ノ文帝ハ、屢租税ヲ免サレ
 天タレ、此、府、庫、倉、廩、ハ、益、富、シ、テ、太、倉、ハ、粟、陳、々、相、
 因、ト、云、フ、様、ニ、ナ、レ、リ、是、ヲ、以、テ、積、マ、サ、ル、ノ、利、
 益、ヲ、知、ル、可、シ、此、道、理、ヲ、篤、ト、腹、ニ、入、ル、ハ、是、

老子ノ道ヲ行フニ付テ、第一ノ心得ナリ、是迄
ハ中節トス、

天之道利而不害。聖人之道爲而不爭。

猶又第一ノ極秘ノ傳アリ、凡ソ天地間ノ道理、
前ニ一利アレハ、後ニ一害アリ、是ハ第二章ニ
委ク述ヘタルカ如シ、物ノ數ニテ、知者モ如何
凡スル一能ハサル所ナリ、唯聖人其秘訣ヲ得
玉フ故ニ、上善ヲナシテ、天道ニ則リ玉ヘリ、老

子ノ道ハ、無爲ヲ貴フ、然レモ爲ノ爭ハサレハ、
如何程ナシテモ害ナシ、無爲ノ無爲タル、無爲
ニアラスレテ、爭ハサルニアリ、此譯ヲ得レハ、
終日ナシテ、未嘗テナサスト云フ、主意ニ當ル
ナリ、全篇一利一害相並フヲ論シ、卷末ニ至
リテ、利アツテ害アラスト云ヒ、一部無爲ヲ主
トメ、卷末ニ至リテ爲而不爭ト云フ、是老子第
一ノ秘訣ナリ、是ヲ下節トス、

大略右ノ通ニテ、先ツ最初ニ、立言ノ體ヲ合点
シ、而シテ此書讀ムヘシ、其次ハ、無欲ハ身ノ
利益タルヲ篤ト知リテ、老子ノ言ニ安ンス
可シ、猶其上ノ極意ハ、無爲ノ中ニ爲アリ、一切
手ヲ出サヌト心得ルハ、大ナル間違ヒナリ、
其所ヲ篤ト合点スレハ、五千言始メテ世ノ用
ニ立ナリ、是ハ一部ノ終リナリ、故ニ丁寧反覆
シ極意ヲ明カス者ナリ、



豐後 廣瀬 求馬 著

嘉永二年己酉六月

大坂心齋橋通博勞町

河内屋茂兵衛

江戸日本橋通壹町目

須原屋茂兵衛

發兌書肆

